京城日報（年中無休刊）

本紙一部金四錢 一箇月前金七十五錢 ……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番
發行兼編輯人 小川三之介 印刷人 奥田直

八月十八日夕刊（朝刊併せて八頁）

西藏交涉經過
正式に交涉行はれ居らず

對支西藏交涉に就き數日來陳外交次長と英國公使との間に屢會見ありしも右は個人としての意見を交換したるに過ぎず支那側に於ては既に英國公使の提出せる三箇條要求中の版圖に關する條項に對しては絶對不同意にして目下陳瑞祐氏をして之が對應策に就き研究せしめつゝあり正式談判の開始は既に支那政府が英國公使に聲明せる通り歐洲和議完全に成立せるを俟つてせらるべく現在にては何等正式の交涉行はれつゝありとは思はれず（北京電報）

西藏條約委員會

西藏問題研究を目的とする西藏條約委員會は此程國務院に設置せられたるが委員は外交部陸軍部及び蒙藏院より都合十六名を選出し劉玉麟氏が委員長たり右は毎週一回開會し專ら西藏條約に關する研究を爲すべしと（北京電報）

和議方針協議

王揖唐氏は此程安福派の主なる者を自邸に招待し和議方法に就き種々協議するところありたり（北京電報）

和議再開準備訓電

國務院は目下南京に在る北京代表施愚氏に宛て和議再開既に近きに在るを以て速かに上海に赴き和議再開の手續を準備し然る後至急上京すべしとの訓電を發したり（北京電報）

軍事及和議協議

陸榮廷譚浩明氏等は近く龍州に會議を開き軍事上の計畫及び和議に對する南方派の態度に就き協議すべしと（北京電報）

排貨取締緩漫抗議

小幡公使は十三日午後陳外交總長代理を訪ひ日貨排斥に對する支那政府の取締緩漫なるを抗議し不滿足の意を表せり（北京電報）

聖上演習御統裁と御召艦

天皇陛下には來る十月中旬相摸灘より東京灣に亘り擧行せらるべき海軍大演習を親しく御統監あらせらるゝ事に御治定相成りたるが島村軍令部長は此程日光行在所に伺候し演習全般の計畫及び攻防作戰要領を上聞に達し同時に御召艦を戰艦攝津に御選定申上げたる旨奏上せるを以て原侍從杉野宮內書記官は命に依り過般攝津艦の碇泊せる舞鶴軍港に出張同艦の下檢分を遂げ十五日歸京復命せるが御召艦は舞鶴軍港より佐世保に廻航船渠に入り艦內外の修繕施行と共に裝飾を施し十月上旬佐世保より橫須賀軍港に入り行幸を仰ぐ事に決定せり（東京電報）

新借疑團加入と三國交涉

外交調査會並に閣議にて決定せる我對支新借款團加入條件に就き十六日夜內田外相は我銀行團の代表たる梶原正金頭取、土方興銀總裁の兩氏と外務省にて會見し種々協議するところあり英米佛三國銀行團に對し交涉を開始することゝなりたるが別に我外務省より英米佛三國政府に對し回答を發することゝし十六日直ちに右三國駐劄帝國大使に訓電し夫々交涉を開始せしめたり（東京特電）

新官制協議
總督府 首相官邸にて

原首相は十七日午前十時永田町官邸に田中陸相水野朝鮮總督府政務總監野口警視廳警務部長赤池縣知事等を招致し總督府新官制發布に就き長時間協議せり（東京特電）

教育總監更迭

一戶教育總監は後進の途を開く爲め軍事參議官專任となり後任は大谷第十二師團司令官なるべしとの說あり（東京特電）

樺山伯容態良好

一時重態に陷りたる樺山伯の容態は其後次第に持直し不日快癒の見込みなりと（東京電報）

專管居留地撤廢反對運動

專管居留民代表は居留民大會の決議を齎し過般上京當局及び貴衆兩院議員各方面に對し專管居留地撤廢反對を陳述し運動中なり（東京特電）

北鮮森林計畫
大橋氏等の奔走

北鮮森林開拓の目的を以て資本金一千萬圓の新會社を組織すべく目下大橋新太郎氏等奔走中なり（東京電報）

北島博士通過

虎疫豫防の爲め滿洲に出張すべき北里傳染病研究所北島多一博士一行は十八日朝釜山上陸、十時發急行にて北行せり（釜山特電）

天津排貨
商況閑散

講和不調印に氣勢を擧げたる天津の排貨運動は彌々熾烈の度を加へ學生團は支那側綿絲布商に對し爾後一切日本品を取扱はざる事を強要せしが同業組合は十六日下の如く申合せをなしたり（一）既約品は之を引取る事今後新に日貨を買入れざる事（二）商買事情を調査するため委員を設くる事（三）既約品はその數を今夜十時までに又は指定品を引取りたるときはその都度委員に通知し檢印を乞ふ事（四）大阪への出張は至急撤回の上引揚げしむる事斯くして邦商の商人に對する迫害は益々甚しく帳簿の檢査その他の取調べ中々

嚴密を極むる

を以て輸入品の商內更になく內地よりは只既約品の入荷を見るのみにして新取引皆無となり從つて輸入爲替の豫約は全くその跡を斷たんとす又輸出方面は棉花棉絲穀牛骨コークス等の出荷相當なり船腹は不足勝ちの狀況にて棉花の如き相場相變らず氣丈出西三十兩御河西河二十七八兩を唱へ前半月は爲替相場稍順調に向ひたるを以て邦々

手合せを見たれども

下旬に入りてよりは爲替逆調のため商談出合はず概して輸出入共頗る不振に終れり（某所着信）

收穫査定期
水麥

紅麥專賣決第八條に依る大正八年水麥收穫査定の期日を大正八年八月二十日より同九月五日迄と定め十九日告示さるべし

特種財產管理
獨墺人

京城總督府にては大正八年勅令第三百四條第一項による獨墺人特種財產管理に關し十八日付を以て京仁其他に於ける債務者並蓮外十二名に對し八月十五日より政府に於て之を管理する旨の通知を發したり債權種類は貸付抵當權設定商品代等合計六萬六十二百餘圓に上れり

布教所信徒數

大正七年十二月末現在朝鮮に於ける神佛道布教所信徒數を聞くに內鮮外國人を通じ（以下同じ）天理、神理、金光、大社の各教に於て四萬七千二百七名同眞宗本願寺派同大谷派同山元派佛光寺派淨土眞言各派聯合同醍醐派印部新義眞言宗智山派豐山派眞宗同臨濟宗妙心寺派同東福寺日蓮法華本門法華朝鮮寺刹等の各宗各派合計に於て二十一萬三千九百六十六名總計二十六萬一千百七十三名なりこれを前年に比すれば一萬三千七百三名の增加を示せり

滿洲粟運賃半減
十六日より實施

內地は降雨適順にして米作の前途樂觀せられ居るに拘らず朝鮮は地方に依りて旱魃甚だしく多少憂慮せらるゝの狀態にあるのみならず畑作の收穫に付いても減收を免れざる狀態にありこれが爲近時精粟の相場石四十二圓を唱ふる地方あり鮮內に於ける粟の需給動からず圓滑を缺くの狀態なるに鑑み總督府滿鐵會社間に滿洲粟の特別輸送に付き交涉中なりしが今回愈々具體的決定を見滿鐵會社にては滿洲線各驛より朝鮮線內各驛に輸送するものは勿論朝鮮線內各驛間輸送のものも優先輸送を行ふと共に其運賃を半額に低減し八月中託送を受くるものに限り同月十六日より實施する事に決定せりと

旱魃影響憂慮

三日來慶尙南北全羅南北の四道に降雨あり殊に四道に於ける本年の米作は相當の作柄を示し居れるに更に最近の降雨にて米收は愈々樂觀さるゝに至れり然るに忠淸道以北は元山雨を除く外依然として降雨なく米作は素より畑作の被害は激甚を極め居り愈々旱魃の狀態は恢復し難き模樣を示すに至りしかば物價高の折柄其の影響を憂慮さるゝに至れり

鮮鐵荷動概況（一）
穀類・礦業・出荷增加 收入三割三分餘增收

鮮鐵七月中に於ける鮮鐵貨物運輸狀況を見るに輸送噸數二十九萬八千二百二十噸收入七十九萬四千七百二十八圓にして之を前年同期に比較せば噸數に於て十二萬五千六百九十八噸（四割二分二厘）收入に於て二十六萬七千七百圓（三割三分七厘）を增加せり而して主要貨物の出荷狀況を概說すると

米 前月來內地相場の奔騰に連れ頗る强調を呈し且つ各地大旱魃にて殊に西鮮地方にありては殆んど五分作を唱ふるに至り一般の減收見込に相場は益々一層躍進し大暴騰を示せる月末內地に於ける米小賣相場は遂に五十四圓を突破し爲めに鐵道院は之が調節の一策として向ふ一ヶ月間無賃扱を開始したり此の發表を見るや鮮米に於ても出荷各驛に殺到し荷動き旺盛を極め前年度に比し一萬一千五百八十八噸の大激增を示せり鮮米の主なるものを擧ぐれば大邱の三千四百三十五噸を第一とし平壤の二千百八十九噸金泉の一千八百八十五噸倭館一千八百七十一噸南大門の一千八百三十五噸平澤の一千六百六十四噸鳥致院の一千六百五十七噸新義州の一千三百九十八噸慶山の一千三百四十三噸等にして釜山群を抜き一萬五千二百八十四噸にして總數の約四割五分を占む內地直通扱其の次位にありて五千四百八十三噸を第一とし仁川の三千四百七十九噸群山の二千五百二噸木浦の一千七百四噸南大門の一千三百八十三噸等を重なるものとす

石炭 前月に引續き平壤鑛業所撫順炭の出荷良好ならず安東縣撫順炭稍減退を示したるも海州川廻し四千八百餘噸あり鎭南浦經由京城驛著草梁經由大邱其他諸九州炭の搬入一千八百餘噸に達し總數に於ては前年度に比し僅に七百噸を減加したるのみ

木材 木材建築界の活躍により需要多く殊に鴨綠江材の流筏順調に荷動き活氣を呈し新義州及安東發八千三百二十九噸山南大門成歡東二浦大邱大田等にして依然龍山著最も多く六千噸を算せり

鑛石 新安州發价川鐵鑛石は依然出荷良好にして鎭南浦經由輸西行六千三十八噸本溪湖行一千九百六噸に達し黃州其の他發兼二浦著は本月に入りて一層旺盛となりて三千九百噸を算し中和、成歡發鎭南浦著金鑛石も著しく增加し荷動き殷盛を極め前年度に比し六千五百噸約十四割の激增を示し主要貨物中第四位に上れり

雜穀 前述米價の强調に之が代用食料として滿洲粟の移動多く殊に內地に於ける米價の暴騰は鮮內に比し一層甚しく粟及朝鮮產麥の需要を促進し近時移出著しく增加せり安東及仁川南大門發粟最も多く鎭南浦群山新義州發豆及小豆之に次ぎ動からず總數に於ては二萬二千二百二十三噸にして前年度に比し殆んど倍加するの大激增を示し荷動き活氣を呈せり

總督府地方官改正官制案要點

道長官を道知事と改む
事務官警視技師港務官を增員
警察部を置き警察衞生を掌らしむること
道知事とし從つて道事務官道警視道技師道港務官其の他職員の增置を見るべし（東京特電）

朝鮮總督府地方官官制中改正案は近日勅裁を經て關係諸法令と共に公布さるべきが右改正の要點は從來の道長官を道知事とし尙ほ管掌事中に新に警

運輸事務會議

陸軍運輸事務會議十九二十の兩日午前八時より軍司令部會議室に於て運輸業務に關する主任者會に運輸事務打合會を開催すべく右列席の爲め釜山より運輸支部長藤崎少佐十九日朝來城すべしと

鮮銀の旱魃調査

鮮銀にては西鮮方面の旱魃が存外高きを以て實況調査の必要ありとし調査局司事澤田信太郎氏を十八日朝出張せしめたるが氏は京義線士城より海州に入り黃海道平野を視察の上平南平北を經巡下旬歸城の豫定なりと

芳澤參事官通過

歐洲視察中なる芳澤外務省參事官は十八日午後七時二十五分京城通過南行すべし

人事消息

▲芳賀總督府醫院長 十八日朝釜山上陸十時急行にて北行歸城（釜山特電）
▲早川師團軍醫部長 歸省中の處十七日夜歸任
▲森文之丞氏（步兵大佐） 步兵第五十五聯隊留守隊長より步兵第七十四聯隊長に轉任十七日夜家族同伴來城十八日發任地咸興へ
▲吉澤師團副官 十八日朝發大邱に出張
▲中村正一氏（工兵大佐滿鐵囑託） 東上中なるが近く歸任其途次來城すべし
▲高城榮彥氏（龍山驛長） 十七日釜山より着任
▲古川國松氏（京管局大田運輸派出員） 十八日朝赴任
▲頭本元貞氏（代議士） 滯城中の處十八日朝發臨東
▲菅木二等主計 步兵第七十八聯隊より廣島被服廠に轉任十八日出發
▲和田純氏（愛媛縣內務部長） 十八日朝入城浦尾旅館へ
▲向坂幾三郎氏（水原模範場技師） 同上不知火へ
▲北尾榮太郎氏（堤石川果農事會社專務取締役） 十七日來城二十日頃歸金すべし
▲松平直平子 十八日朝東上

京城府研究會

京城府廳にては府政研究會創設……府廳關係者にして其目的は一般府政の改善を計るといふにあり

財界閑話

鮮銀株が恐ろしく上つた、六月に百九十二圓まで下つたのが昨今は二百四十二三圓、つまり五十圓も上れてゐる▲三井加島の二大銀行それから正金興銀鮮銀の各特殊銀行が皆んな大騰貴をした、ついで來るものは鮮銀と云ふ事で何人も頭について居るからの買ひ進みだ▲ある人が鮮銀の某重役を訪うて曰く『株が上りましたね增資內定ですね』と聞くと、その重役の曰く『イヤ銀行では何もそんな內議は全くありません、これは神かけて私は斷言する▲どうも斯樣な問題は世間の方が早く騷ぎ立てるやうですね、從至元相しさでも云ひますかアハ……』乃で某は『銀行券の發行も上鮮銀の增資は避け難い事です』▲『定禁目下の所未拂込資本金は一千萬圓にすぎません、其位の金は徵して行けもすぐですよ、一方發行はドン／＼殖ゑる、して見ると結局大勢論として增資ですかね▲世間はその大勢論で觀測を立て、其の觀測が往々當るからね』と增資を頭から否認するでもない口吻だつたさうな、果してどうなる？

森林鐵道進捗

朝鮮森林鐵道には發起人の一人たる長谷川太郎吉氏數日中に來城當地發起人津田鋼雄氏と會見打合せの上總督府より鐵道線路の許可を得て直に長谷川氏は森林の第一期線たる咸興長津間の豫定線路測量班並に木材伐採區域の林相を調査する調査班を隨へ北行すべく一方東京大川平三郎氏等の手にて按排を進め居れる株式の公募を行ふに至る模樣なり尙ほ總督府の民設鐵道補給に對する人氣は頗る上がり居りが年八分と決定せしにつき同株は東京の發起人に於ては株數に大不足を來しその各方面割當てに困じ居れる由

科學と戰爭の關係
戰慄の繼續

英國軍需省爆藥供給長官たりしモルトン卿は此程劍橋で『科學と戰爭の關係』なる題下に左の如き趣味ある講演を試みた

今次の大戰 一言以て之を蔽へば科學の戰爭であつた吾人は今茲に戰慄の繼續そのものであつたかの如くに感ぜらる今次の大戰中に得たる經驗の中で一番苦い厭やな感じを與へらるるものは化學の力であつた、先づ『毒瓦斯』の事から言つて見よう、獨逸がこの毒瓦斯をはじめて戰爭に使用したのは一九一五年四月二十二日であつてそれから約三十日も經過せぬうちに續けざまに六回聯合軍に對して毒瓦斯戰を試みた之に對する聯合軍は何うかといへば此時までも聯合軍には毒瓦斯に關する何等の準備もなく同年九月に至つて漸やく衝擊戰をなすを得たといふ爲體であつたのであ、併し之を防ぐ方法に就ては故パリソン大佐が逸早く考案を凝らして一種のマスクを發明し之を聯合軍の全軍に使用したるに對して獨逸側では英國の式を模倣してつくりだした要するに今次の大戰にこのマスクが無かつたなら戰死者の數は何れ程に上つたか殆んど想像もつかぬそれから今一つ

化學上重大なる關係ありしは爆藥である、爆藥は大抵硝石を基礎として製られ主に智利の天然硝石礦から輸入を仰いで居たものだ、然るに化學の研究の結果空中窒素から硝石を製出する事を發明したけれども英國政府及び英國工業家は一顧をも與へざりしに對し獨逸は早くも之に着眼して獨逸が此案を採用すれば將來萬一海上權を失つても安全だといふので大規模の硝石製造所を設け完全なる製造が出來るやうになつて始めて今次の大戰が勃發したのであつて獨逸にして若しこの硝石製造所がなかつたならば大戰もア、まで長くは續かなかつたであらう

此爆發物中 今日最も多く使用せらるゝものはニトログリセリンで非常に有効なものであるが之が發揮する力といふものは同じ重さの石炭を燃燒さして得る力の六分の一弱であつて元來石炭の力は弱いが石炭のグリセリンと違ふ所は石炭は燃ゆる爲めに外から空氣が入るに比較するとグリセリンは爆發物それ自身に酸素を含むから急に燃るこその爆發藥の容積の何千倍に膨脹する能力を有つてゐるそれで燃るものとそれを燃すべき酸素との同じ分子の中に或著を發見したのは八十年前の事である、其後火藥は長足の進步を遂げた譯であるが當時にありては大砲の發射藥としては使用へなかつた爆發が烈しいから大砲自身が破裂する、又砲戰に使用しても發射されると中途で砲彈そのものが粉碎されて了ふから敵に命中しても然したる損害を與ふる事が能きぬ、それで漸次改善の道程を辿るうちに餘程新しい發見をしたそれは爆藥に揮發油的のものを溶して揮發油を放逐すると跡にはゼラチン樣のものが殘り爆藥を大小任意の形に裁斷する事を發見したのである、斯くして一種の塊になつた爆藥の効用はその爆藥に熱を加へて爆發させる時に熱が爆藥の外部から中心まで達する速力といふものが爆藥の各分子が漸次爆裂して行く速力よりも遲いといふのである

無煙火藥の發見は世界の戰爭を一變したナポレオン時代に英國にソマレーといふ海軍大將がゐて佛國海軍と戰つた事がある當時佛海軍は二列橫陣をなしてゐたがソマレー大將は單陣を以てその中間を突破し兩側に向つて一齊射擊を加へた當時は無論有煙火藥であるから佛軍は硝煙の間には……出來て仕舞つた乃で佛艦は無我無中で煙を目蒐けて大砲を發射したので結局同士擊ちを演じ大損害を蒙つたといふのが有名な話になつてゐる、昔は最初の第一彈の到着點によつて第二發の方向を極めるのであるから大砲の位置を正確に固定して置く必要があつたが今日の大砲では射つ反動で後方に退下るまた砲の位置に復するといふやうな事は正確に出來てゐる上に彈丸の發射を正確にする事が科學的の設備があり、また無煙火藥の煙を出さぬ理由は火藥中にある物の凡てが燃えて不燃のものが殘らぬといふ性質があるからである

鐵道の設備 上に於て今次の大戰で而して遙かに獨逸は聯合軍に對して優勢なる地位にゐた一九一六年ベルダン攻擊の際獨逸は其後方に有せる軍用鐵道十線に對して佛蘭西には僅に一線といふ貧弱の鐵道に對抗する爲に自動車を急造して之に當つたのである以上は所感の斷片に過ぎぬのである

其の日その日

◇日本代表者が、山東問題に關する、聯合國代表よりの提案も、米國の提議も、第三國の仲介を要せずと、斷然はね付けたるは痛快也、當然也。最初より此の意氣あらば、何等の批難なかりしものを。
◇米國は羅馬尼に、最後の通牒を送りたりと云ふ。モンロー主義の米國が、大戰に由つて歐洲に足場を得て以來、其活躍尙ほ見るべきものあらむ。遂には大西洋を埋めて、陸續こすべし。茲に於て即ち世界第二の戰因を作る。
◇世界的の富豪カーネギー死す、巨億の富も遂に一人の生命をだに購ひ難し。以て奈何となすか。黃金萬能の成金先生、以て奈何となすか。
◇總督新官制も、愈々廿日頃を以て公布せらるべしと。廿日と云へば僅に後二日也。眞に玉手箱の觀あり。
◇暑氣の宴會は、可成簡便を希望するは、社交界の等しく口にする處也。不禮よばはりは野暮也、客に痛鬼を與へんとする主人側の目的なるべし。浴衣掛と云ふ處に於ても、夏の宴會の趣味存す、四角四面は冬のもの也。

海產物商案內（山）

海產物肥料委託賣買商 支那貿易 中俊支店 釜山南濱町二丁目 電話長四六七番

海產物問屋 潛水器漁業 西野商店 釜山南濱町二丁目 電話一三九番

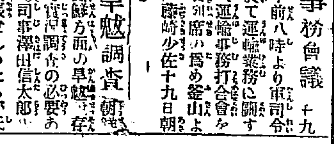
海產魚肥料問屋 上浦商店 釜山南濱町一丁目 電話五八九番

海產魚肥料 委托賣買問屋 牛島商店 釜山南濱町二丁目 布谷嘉七 長電話五七〇番

海產魚肥料問屋 守谷商店 釜山南濱町一丁目 伊藤庄之助 電話三二三番

潛水器漁業 罐詰製造業 海產貿易商 委托問屋 山中商店 釜山南濱町（電話七四六）

洋鐵 瓦斯鐵管 鐵板 L
京城南大門通 福田又京城支店



スレツパー製造元 京城明治町（電一八參二） 古賀喜商店
牛皮上等スレツパー……壹圓八拾錢也
皮製スレツパー……壹圓五拾錢也
朝鮮特產ワレグスレツパー……五拾五錢
重一丹スレツパー……八拾五錢也

宮內省御用達
天下一品
キツコーマン
野田醬油株式會社

◎謹告
一牛乳 壹合 金拾貳錢
材料騰貴諸費用增加に付來八月廿一日より值上仕候
京龍牛乳販賣業者一同

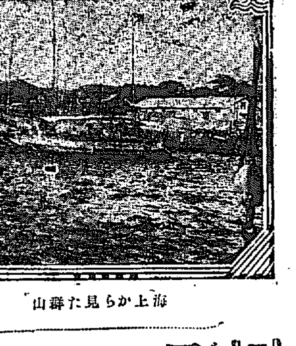
果實青物 海產物 委托賣買
委托品は確實迅速に御取扱可申候間多少に不拘御出荷被下度候
京城南米倉町市場
貿易問屋 岩城商會
振替京城一〇〇六番 電話八四二番
紀州柑橘組合指定問屋 蓬萊生命保險會社代理店

醇良清酒

時滿到る處に販賣す
平壤 釀造元 齋藤酒造合名會社

白龍 優良 秋蠶種
特價金七十錢 外容料容器代一件金五錢
多數一時註文は割引す 本社水庫貯藏、毎日出穴
東京 東蠶社

值上廣告
清酒 大樽 壹挺ニ付金貳圓
諸材料騰貴ニ付來る八月二十日より右值上實行仕候
仁川酒造組合


海上から見た群山

五道沿岸汽船行脚
暑い哉木浦

屋外は確かに百度以上!!小の河豚が出沒する海水浴!!仕切り無しの蟬時雨!!僂中の溫かい農家!!梵魚寺の追悼會!!!

絶好の到來物

木浦にて　京魚生

木浦は八十幾度と云ふけれど暑さ、屋外はたしかに百度以上だ。汗がニシ／＼と出て、勇氣も、元氣も無くなる、朝鮮支店の佐藤君が來た、案內されて海水浴場に行く、海岸をぐるりと廻つて、暑い事、直射の日光は肌に痛い、今日は日曜と云ふので、浴場には大小の河豚が出沒して居た、場所は木浦灣の一角、街に添うた海上である、見るからに暑くるしい、泳ぐ元氣もなくなつた、鳥渡覗いた丈けで、すぐ引つ返す、市中を一覽するに、大した活氣とは云へないが小さな何々會社とか、何々製造所とか云ふ建築が其處此處に出來つゝある、

何しても此處

は棉花と海草場であるから今は夏枯れの氣分だ、唯ある處で盛んに庭球をやつて居たのは嬉しかつた、木浦へは今丁度夏期休暇を利用して、早大の庭球團副將組の三上、竹下の二人が來て居る、運動家はこれを好明として、此の百幾度の炎熱に屈せず熱汗を流しつゝコーチして貰つて居る、何でも兩選手は十五日迄に京城に入り來遊の早大選手と合同する相な

京城の庭球戰

は定めて火花を散らす事だらう。アヽ、暑い、暑いと云ふまいと思へど汗が出る、早く乘船せなければ遣り切れぬ、順天丸の入港を初戀の様に、一日千秋の思ひで待つて居る、暑いと氣がくしやくしやする、原稿紙に汗が落ちる、手にくつ付く、窓の外で蟬が仕切り無しに鳴く、其鳴くや驟雨のやうに、殊に觸つて仕様がない、そよとの風はあるが暑さを打ち消す丈けの涼味がない、

避暑地の話を

するも木浦の人は手を振つて、却つて以ての外で御座ると云ふ、此附近避暑地に適當なのは黑山島である、太黑山島、梅加島何れでも好い、處ならば大洋中の一孤島數百里以前から涼しい海風は日夜吹いて居る、が、十日に一度位の船便があるのみ交通便利と行かぬ、仙人を氣取らうと思ふ人、宜しく和島に渡るべし

だこは、餘り現世とかけ放れて居る此の地方

田舍の農業者も

御多分に漏れず、僂米高でホク／＼者である、僂公の溫かにいつれ御飯の次の賭博の流行が亦却つて盛んだ、敗前渡船停車場へ數十人の鮮人團

海の木浦

形は楕圓にして

冬瓜に似たり

甘は綠に、腹は白く、莖は淺く取りたてたるあるか、葉は淺るれど尚ほ青色み帶ぶ、絶好の到來もの、一見既に口中の濕ふを禁じ得ない、目方二貫目以上と註せらる但し西瓜は、程遠からぬ高下島から特美なのが產出せらるゝ、之れも其れだこは嬉しい、早速佐藤君に人を派して方恵と洒落、旅館樓上で四人、思ふ儘鱈ちり、甘蜜味を啖るが如く、無上の風味を筆すべく、之で大分暑さを忘れた、其上船が來ると聞て大に元氣が出た。

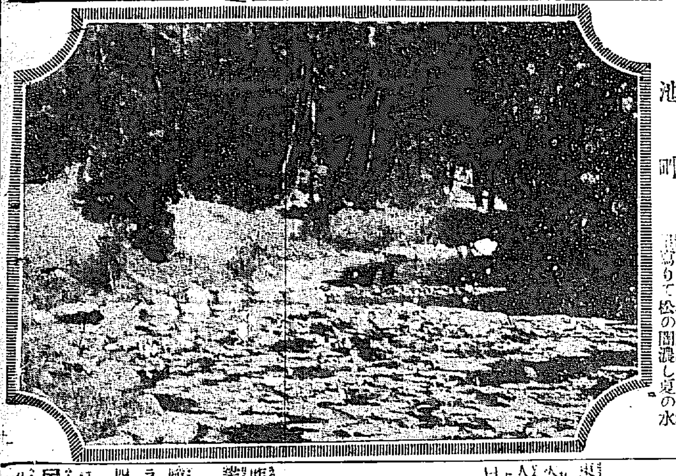
[illegible]が下車した、何事かと聞くと東萊驛から一里餘の山中にある梵魚寺で名ある兩班の息の追悼會を營むので、其れへ行くのだと云ふ、近頃以て奇特千萬、殊勝の程こそ感心して居ると豈ぞ知らん追悼會は名のみ實は同寺へ百餘人の賭徒が集合し、

大開帳の盛況を

呈したとは嘘か眞か存ぜねど、奇ッ怪至極の京城遊なむめり。此處いらが京城遊に行く時は、其の奇特な追悼會が主となり、感心な鮮人の行爲として、當局の賞揚せられねば結構である、兎角鮮人の物事には勝ち云ふのが多いから、平生からの御注意が肝要と御座らうぞ久し振で氣焔も聞き

內實は視察の

材料の參考にもと、木浦新報社幹長野活叛來君を訪ふと、昨夜嚴父が逝去したとの事、オヤ／＼、其は大變だと早速お見舞申し上げ、永樂町人松本君と今昔の談話に快時間を貪る、旅館で新聞を見て居ると巨大な西瓜の到來物があつた、


池畔　影寫りて松の闇濃し夏の水

飛行郵便の

……遞信省では……飛行郵便……從來することになつた、氏は語る……を視察し英國に渡つては倫敦を……十八日午後七時二十五分入城、……歡會にて一般の聽講を歡迎すこ官民有志數十名を仁川俱樂部に……

趙重應子病狀

一時危篤を傳へられたるも　經過漸次良好

子爵趙重應氏危篤の噂あるに對し宮地主治醫は其病狀に就て語る『子爵の病狀は危篤と云ふほどではありません。永い間痼疾の爲めに惱まされて居られたのに唯衰弱が酷しいだけであつて病勢が重かつたわけではありません。先日は一寸危篤の狀態でしたから心配しましたが今の處は漸次良好に向ひつゝあるやうです。兎に角只今のところでは稍愁眉を開いて居るやうなわけです』

紐育の俳優罷業

十三の劇場閉鎖

紐育に於ける俳優同盟罷業の爲著名なる劇場十三座去る七日より閉鎖し居れり（紐育電報）

虎疫と軍隊の活動

國境を嚴重に警戒　陸軍大臣より豫防接種認可

國境方面に於ける虎疫は其の後益々猖獗を極め十二日新義州に三名十三日舊義州に三名の新患者を出したる爲め同地守備隊にては大恐慌を來し凄剡

近く到著すべく到著の上は先づ鐵道沿線派遣隊守備隊及び派出要地駐屯部隊より豫防接種を實施し虎疫豫防に關し萬遺憾無からしむべしと右に關し

第二期防疫

を實施し將校以下を地方人に接觸せしめ嚴重に防疫を開始したり又鐵道淨法寺師團長より田中陸軍大臣に申請中なりし虎疫豫防接種實施の件は愈々認可され既に豫防疫は發送濟となりたるを以て

奥田旅團長

は語りて曰く朝鮮のやうに隣國の地から入營してるる留守宅では雨につけ風につけ心を痛むるものである若し虎疫で兵隊を死なすやうな事があつては家郷の人達に對して全く申譯がない自分は斯

任日猶淺く派遣隊の狀況は良く分らぬが分散配置してゐると地方人に接する機會が多いので兎角流行病を感染し易い若し分散配置になつてゐるならば營門を閉鎖して兵營に集まつてゐるならば營門を閉鎖して

嚴重に防疫

が出來るが此の際豫防接種を勵行すると共に虎疫の襲來に對しては積極的に防備する積りである云々

慶應破る

大連の野球試合

慶應對大連實業倶樂部野球試合は十七日午後三時より西公園グラウンドに於て開催され慶應先攻第一回一點を入れ慶應死物狂ひに奮戰すれど遂に競はず三アルファ對一にて實業の大勝に歸したり（大連特電）

果物が安くなる

野菜は相變らず高い

コレラ騷ぎの爲め果物市場の影響は何うか某果物店に付て聞くにコレラのためには餘り商行きに打撃を受けて居ない西瓜は昨年に比べて隨分高値である野菜などは旱魃のため殆ど枯死の狀態だから高い馬鈴薯だつて一貫八九錢もする林檎梨桃などは三四日前から餘程下つて居る下落の原因は內地の方に惡疫流行の爲め內地行きが杜絕したため產地から京城にドシ／＼送つて來るやうになつたからだと云ふ決してコレラ騷ぎの爲ではないと云つて居た

志自岐丸の運命

＝海軍省は兩樣の電報到著　救援艦現場に急行す

海軍省小林高級副官の談　志自岐丸沈沒に就き海軍省に到著せる電報に異狀なしとあつて後から間もなく沈沒したと云つて來たので何れが眞か一寸判斷し兼ねた次第であるが兎も角大事を取つて十六日佐世保から驅逐艦春風を現場に急行せしめ尙ほ淺間肥前兩艦をも派遣した何れも十七日正午頃迄には遭難地に到著する筈であるからして程なく委細の報告があるだらうが何分種ケ島方面は平常から隨分危險な所であるのに大暴風で來て居るのであるから果して志自岐の運命は如何になつたか甚だ憂慮に堪へぬ暴風雨中の救助作業は頗る困難である云々（東京特電）

大牟田地方に高潮襲來

暴風の影響＝一千餘戶浸水　佐賀嚴木村は三百餘戶燒失

今回の暴風のため福岡縣三池郡大牟田町地方に高潮襲來し人家二千餘戶浸水し又佐賀縣東松浦郡嚴木村に出火あり三百五十戶を燒失せり（下關特電）

大馬賊團一面坡を襲擊す

在留日本人哈市に引揚ぐ

東淸鐵道東部線一面坡驛は十四日大馬賊團襲來し支那家屋に放火し掠奪を恣にし日本人家屋へも類燒せり支那人は馬賊を擊退したるも形勢尙ほ危險なるを以て十六日日本人數十名哈爾賓に避難し來れり（哈爾賓電報）

東淸線馬賊猖獗

＝三岔江に來襲脅迫し　東京城を包圍燒打す　黑煙天に沖し戰々兢々

昨今東淸鐵道沿線に於ける馬賊の跋扈甚しく被害者跡を絕たず彼等は宛ら無人の境を行くが如く隨所に暴虐を恣にし現にボクラニーテナヤ（綏芬河）の南方約四五里三岔江に馬賊の大團現はれ同地を包圍したる後住民に對し金五十萬圓及び煙草二千箱（約二萬圓）の提供を迫り若し十日以內に應ぜざる時は同地を根本的に破壞し且燒打すべしと脅迫しつゝあり住民は戰々兢々として遠く避難するものあれど中には馬賊に捕はれ金品を掠奪され婦女子の如きは殘忍なる彼等に依り辱かしめを受けたるもの尠からず又寧古塔附近に現はれたる馬賊の大集團は拉河の南方東京城を襲擊し嚴に前記同樣の手段にて脅迫したるも市民が之に應ぜざりし結果馬賊は大に憤慨し同地を包圍し四方より火を放ちたる爲め同地は今や黑煙に包まれ黑煙今猶盛んに天に沖しつゝあり我邦商は重要書類を土中に埋沒し目下寧古塔方面に避難しつゝありと（十八日某所著電）

伏見丸引返す

機械破損の爲め

日本郵船會社汽船伏見丸は無線電信にて報告して曰く同船はシリンダーヘットを破壞し操縦不自由となりたるを以てビクトリヤ港に引返しつゝありと（ビクトリヤ電報）

九州虎疫發生

福岡と若松に

若松及び福岡に各一名の眞正虎列拉發生せり（下關特電）

車中檢疫實施

龍山分隊にて

昨今滿洲より元山方面に移住する支那人の龍山を通過するもの多く時節柄病毒傳播の虞あるを以て龍山憲兵分隊にては毎回京元線南行に對しては鐵原まで檢疫員を乘込ませ嚴重に檢疫を實施しつゝあり猶支那人のみならず一般安東縣方面よりの旅客に對しても支那人同樣嚴重なる檢疫を實施し居れり。

鴨江通行禁止

嚴重に防疫開始

安東及び新義州に於て虎列拉益々蔓延し當分の內鴨綠江橋梁の通行を禁止し交通を遮斷し嚴重に防疫を開始せり（十六日）

納涼列車賃拂戾

元山行納涼列車は同地方暴風雨の虞ありし爲め運轉を中止せしを以て既に發賣したる乘車券は南大門驛に於て賃金拂戾を爲すべしと

虎疫と思つた赤痢

十六日朝急行列車で釜山から來た三等旅客にして山口縣熊毛郡淺江村福本みね（二〇）と云ふ女は棧橋待合中其擧動傳染病者に疑ひありたるを以て時節柄直ちに警官に申告し警察醫の診斷を受けしめたる結果赤痢患者と判明同地避病舍に收容

避暑地投票締切延期

可及的多方面と可及的投票の自由に考慮し各地方よりの希望を入れ投票締切本月十八日を二十五日迄延期す遠隔の地より郵便投票は廿五日の日附印ある者まで有効とす乞ふ奮つて投票あらん事を

京城日報社

支那の排日狂熱

日本綿布の排斥は益々猛烈　某國商人の煽動に起因

支那に於ける日本綿布の排斥は益々猛烈となり漢口に於ける支那綿布同業會は結束して本月から日本品の取引を停止することになつた元來支那に於ける綿絲輸入の狀況は日本綿の最大販路であるが競爭品としては印度綿及び支那紡績であるが今日では支那綿絲を凌駕するの有樣で逐年販路は擴張されて來たのであつた支那方面の需用停止は重大問題であると之に就き某氏は語る『日貨排斥は激烈であるが就中綿絲紡績の排斥も火の手が高くなり日支商人間に契約せられた先物なども學生團に全部讓り渡されて勝手なことをされてゐる有樣だから日本綿絲紡績は殆んど市場に見ねず米品は破荒の相場と云ひ裏面には某國商人の煽動に起因して居るらしいから一朝一夕で終熄する模樣もない之を動機として天津漢口等に支那紡績會社が設立さるゝことになつたのは當事者は大に注目をすべきである

米宣教師の判決言渡

高等法院にて

在平壤米國宣教師牟義利事エリ・ミラ・マウリー氏の保安法違反犯人藏匿に關する事件は十日午前九時より京城高等法院に於て判決言渡しがあつた定刻に至り石川横田水野原四陪席判事立會の上開廷し岩本裁判長より左の通り判決が申渡あつて閉廷した

主文

原判決ヲ破棄シ本件ヲ京城覆審法院ニ移ス（以下理由省略）

當日は鶴澤大久保兩辯護士の姿も見へなかつた傍聽席には宣教師マウリー氏及び米國領事米人五六名と鮮人十數名がゐたのみであつた猶高等法院では四五日中に書類一切を京城覆審法院へ廻付する筈である

雇人の橫領

京城府本町四丁目飾製造業山仲次郎方雇人廣島縣安藝郡坪村無職中谷松次郎は註文取集金に從事中大正八年四月北米倉町原田龍夫より集金中釣錢不足と稱し拾圓を騙取し同年八月漢江通り相川辰五郎より金拾八圓を橫領せる事發覺し本町署の手に逮捕され十八日檢事局へ送られたるが同人は八月五日解雇されたる由

雲畝畫伯入城

日本丹青界の新進にして數度文展に當選せる松下雲畝畫伯は今回入城目下岩本英文氏宅に滯在中なるが氏は元來豪放高潔の畫家にして山水の外花鳥の畫をよくする由

○筑前琵琶演奏會　旭水會にては今回大師琵琶界の重鎭中川旭收女の來城を機とし十九日午後六時より本町……に於て歡迎演奏會を催す由演奏曲目左の如し

白虎隊（水聲）敦盛（水波）山崎合戰（水溪）川中島（水洋）名殘の櫻（旭川）乃木將軍（旭岡）高田の馬場（旭陽）（靈馬鍊（旭穗）大高源吾（旭己）項羽（上）（旭桂）泉の三郎（旭陽）本能寺（旭藻）湖水渡（旭彩）重松中將（旭貫）護良親王（法泉山旭水）山內一豐（中川旭收女史）

運動界

戰の跡

早大對全京城庭球戰

第二回戰は京城軍も力戰大に努め各組ともに力量一ぱいに働いたが早大軍は優遇三組を殘して大捷した早大軍の樹下君曰く『昨夏の京城軍と較べると著しい進步が見ゆます

後衛は適當

ですが前衛が著るしく見劣りします前衛の不確な爲めに思切りが惡いのが目に著きました戰法は一般に粘り強いから矢張學生同志の試合と趣が異つてゐるので我々も得る處が尠なくありませんでした高杉早大教授日京城軍の技術の進步を拜見して感服しました此勢で進むと來年は早大軍に勝味はなさそうです若し來年は御招聘があつても或は口實を付けて渡鮮が出來ないかも知れませぬ』と諧謔を弄して居た京城軍は今回の早大渡鮮に負ふ所が尠くない後衛も從來の一本調子を止めてロッピングに直球に苦策きに行き大いに努める必要がある前衛は全然新らしく

練習する必要

がある高商の長谷川早大の上田兩君が善い範を垂れてゐる京城軍第一回は敵島永野奮戰し第二回は奥田若泉力戰した勿論濃合はあつたが中堅が薙倒されて未知數の二組が勇戰したのは嬉しかつた早大軍は本年主將以下六名の選手を卒業さす相で來年度はウント練習をしないと過去八年に亘る名門の弱者の歷史を汚すやうな場合があるかも知れぬ高商帝大等は屢々肉薄して來ると云ふから殘る選手の苦衷が偲ばれるこか

早大軍主將

上田樹下兩君は明年卒業後は渡鮮される筈で目下某氏と協定濟みだと云ふ果してさうなつたら明年こそは早大軍を擊破するに難くはあるまい早大軍は十九日朝南大門驛出發直ちに福岡に赴きコーチを從ふ由

早大選手コーチ

目下滯在中の早大庭球團中三上竹下、樹下、郡、狩野、市野等の各選手は十七日午後四時半より龍山滿鐵コートに來場し鐵道選手の爲コーチを爲し夜に入り社友會々場に於て晩餐を共にし歡談を交へ和氣靄々裡に十時過ぎ散會したり

本日溫度（午後二時）

▽京城　攝氏八十九度（本社編輯局）
▽仁川　同　八十三度（本社支局）

公論對靑年會

十七日午前十一時より朝鮮公論對靑年會野球試合は京中運動場に於て擧行公論軍初めより優勢十六アルファー對三にて公論軍大捷す

公論軍		靑年會	
5	梓植	5	越智
1	北村	4	渡部
4	淳英	7	岡
9	林	3	池本
3	木村	2	佐藤
8	安田	8	松隈
2	西村	6	前川
7	中島	9	靑木
6	中村	1	柳澤

審判　勝本、館

平壤の野球戰

平壤南門倶樂部は十六日同地アマチュア軍と野球戰を擧行し南門軍振ひ十四對十一にて南門倶樂部優勝したりと南門倶樂部の陣容左の如し

投	捕	遊	一	二	三	右	左	中
青山	淺海	林	吉見	李	藤野	秋枝	重野	豐村

補　福岡

淨瑠璃界

▲元々も愛澤閣音が行はつてから盛んになり新しい天狗が大分出來たとの事▲忠州の吉沢連中は近々花々しい大會を催すとの噂▲能糸の後見となつてゐる鶴枝連の……

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞會社代理店　當る八月十五日より大提供　米國キーストン會社特作喜劇『ユニコー』活劇『三ビ山賊』長尺　米國ラスキー會社大傑作　冒險活劇　魔城の寶　全五卷　劇　魚屋宗五郎　四卷

壽座　京城本町　電話五七八　當る八月十九日より毎夜五時開場　新派好美團一行　（初日）每夜五時開場　小島孤舟氏作『光子』全七場

確實は弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ

秋本商店　城山組　下關市

角形石鹼元祖　浦本工場　京城　電話一二〇九四番

浪花館　京城明治町　電話二六〇　當る十六日より毎日晝夜二回開演　落語はなし　掛合噺

空前の大盛況の…　初日二日三日　各等賣切　秘劇　神の娘　業平長五郎　勿見落給廿一日迄　喜樂館

喜樂館　本町一丁目　電話九九七番　當る八月十五日より特別大興行

神の娘　業平長五郎　五卷

文樂座　本町五丁目　電話二八番　今回喜劇スズメ會一行男女優十九名を招き當る十八日より初日

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　當る十二日より開演　女流浪花節前田節子一行

りん病　消渇　困る方切手三錢送れ多年の惱性も自宅で秘密に治す妙藥を入助けに無代お教へ致します　名古屋南かじや町　武藤亀吉

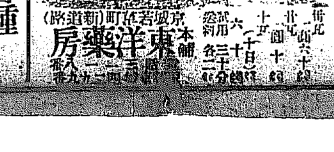
定價　京城日報社代理部

不知火　專賣特許　福永商會

從來合名の處今回一手に引受け事業擴張し販賣に從事致候間多少に拘らず御用命の程奉願候　福永商會

柳下駄各種　并に薄板製造　八德

東洋藥房　京城黄金町（新道路）



仁川期米

十八日後場

研究に
遞信省から小田部事務官が渡航す

歐米の…制度を調べる必…する考へです先づ米國ではウイルソン、ラ…要から、事務官小田部胤康氏は來る廿一日横濱出帆の諏訪丸でシングレーライト等の空中輸送路…先般來滿洲各地旅行中なりしが…

蘆田教授講演

京都同…迹社大學神學部々長蘆田教授は…日迄三回繼續の講演を催す…なるが會場は南米倉町京城基督…

…淺井氏招宴　仁川仲町醫師…井台三氏は十六日午後七時仁川…

[illegible]

第五版

奉天より

老先生

夏枯時と申し虎疫猖獗を極め一般市況若干不況を來し候へども尚ほ諸會社の創立併合擴張なきの盛んなるは何等平常と異なる處之れ無く候、即ち曰く奉天證券信託會社曰く大興製粉會社曰く奉天製材會社の擴張等殆ど枚擧に遑あらざるの狀態にて之有之候は奉天財界發展の爲め慶賀に堪へざる所に候

奉天證券信託會社は東省實業關係者を中心とし是れに其の他奉天に本店を有せる諸會社關係者及び一部の有力なる實業家間にて主唱せられ居る資本金壹百萬圓の會社にて有之其の主なる目的は名稱の示す處の如く諸會社の株券を擔保として金融の方途を拓き以て一般財界の運用を圓滑ならしめ經濟界の貢獻せんとする處にて候

斯の同會社創立に就き奧金融業者側も初めて曰く眞に滿蒙開發の使命を有し若くは貢獻せんとする社の社債券或は株券に對し金融上の援助をなすは金融業者として當然の處置なりと確信す、されど奉天に創立されたる會社の悉くが其の使命目的を一にするや否やは疑問とせざるべからず、且つ其營業上未だ一回も配當報告をなさざるものに對し是をなしたる者と同一視せしむるは至極困難なるべくと又曰く該證券信託會社の示す處の目的即ち有利有望なる滿蒙の會社を廣く內地に紹介し以て內地資本の流入に努むべく內地の有利なる株を滿蒙の地に輸入すべく努力貢獻するは正に双手を擧げて歡迎すべき事業にして其の目的や大に可なりされど其の運用や歸結や蓋し至難ならずとせず徒らに思惑屋や株屋の利用に委すが如きは最初より十分の警戒を要すべき點なれば是れなしも防遏し得ば金融上援助は最善を盡すを辭せざるものなりとの事にて候

思ふに奉天の發展は要一兩年の事に屬し決して古き歷史を有せるにあらず而して其の速度や極めて迅速に疾風迅雷的にして今や本店を存せる株式會社は共に壹千萬圓の資本を擁せる南滿製糖滿蒙毛織を筆頭とし東省實業滿蒙纖維工業大陸窯業其の他總數約三十資本總金額三千五百萬圓を超過し拂込金額も亦壹千萬圓を上下せんとするの狀態にて有之候へば其の內若干少くとも三百萬圓內外は奉天人士の投資を見るを至當と致すべきかと存候

該三百萬圓が悉く固定せりとは見る能はざるも是れが爲めに金融上の圓滿を阻害し圓滑を缺ぐは爭はれざる事實、殊に專ら一般の金融業者として商取引に關聯して以て是れ等に對する融通を援助し居るものなれば其の苦痛不安を感ずる點は多々之有申す可く茲に證券信託の生れ出でゝ其の不利不安を除去し進んで其の隔意なき援助を得んとするは正に時代の要求なるべくと存じ候此の故に此れが創立を見運用を開始するに至らば宜しく其道に堪能なる士を迎へ以て運用を愆らざらん事を所望せずんば非ず候（未完）

人口（撫山・立山・滿洲）

	戶	男	女
內地人	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支那人	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京畿檢米數

七月中京畿道管內に於ける米穀大豆檢査數量は輸出玄米四萬三千六百八十四叺中白米五百七十三叺大豆五萬七千七百三十九叺を算せるが其各種別の成績如左

移出玄米 總數四萬三千六百八十四叺中一等合格五百七十一叺二等三千八百一叺三等三萬六千五十五叺不合格一萬三千一百五十七叺にして不合格の原因として最も多きは包裝不良一萬三百二叺容量不足一千三百六十叺夾雜物多數八百二十二叺乾燥不充分二百六十叺あり各檢査所別の成績一等水原（五七一叺）の外左の如し

	總數	二	三	不合
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南大門	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平澤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

以上生產地の主なるものは振威郡八千三百二叺水原郡一萬一千九百五十二叺黃海道二千七百二十叺忠淸南道二千五百六十五叺高陽郡八千二百五十一叺利川郡三千六百二十五叺忠淸北道二千二百九十叺安城郡二千九百十叺其他にして仕向地は東京三千二百二十叺大阪一萬六千二百五十八叺釜山五千八百八十三叺等は其の主なるものなりとす

中白米 は總數僅に五百七十三叺檢査所は水原二百六十五叺烏山百五十六叺平澤五十二叺にして烏山百四十八叺の三等合格あるの外全部不合格とし生產は水原郡五百二十一叺振威五十二叺仕向地は釜山百二十六叺全羅四叺なり

移出大豆 總數五萬七千七百三十九叺中特等合格九十一叺一等二千九百五十六叺二等五千百九十三叺三等四萬五千四百七十一叺不合格四千二十八叺を算し不合格品中の最も多き原因は容量不足一千八百三十三叺包裝不良八百六十叺乾燥不充分六百九十六叺之が各檢査所別の成績特等西氷庫（九一）一等西氷庫（四、三一〇）南大門（六八）の外左の如し

	總數	二	三	不合
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南大門	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西氷庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
汶山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高浪浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東豆川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
漣川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

以上の生產地の主なるものは黃海道二千九百六十四叺江原道一萬三千九百二十五叺水原郡二千四百五十九叺忠淸北道一千七百八十六叺漣川郡三百二十叺其他にして仕向地は大阪一萬七千八百八十九叺釜山四萬四千三百三十七叺神戶一千七十三叺廣島一千五百三叺東京三千二百十叺下關九百九十三叺等其主なるものなりとす

西鮮の旱魃と救濟策

平壤南山町中村伊之輔氏は過般來平南北、黃海の三道を視察し此程歸來し左の如く語れり（平壤）

自分は西鮮十三郡を巡遊して可成詳しく踏査したるが旱害の最も甚だしきは平原、安州、博川、延日、价川の諸郡なるが今後何時降雨あるやも確知し難ければ其被害の程度等も斷言は出來ざるも其慘狀は

想像以上 にして實に寒心に堪へない次第である今期の旱害に對し畑作物は天災なりとするも畓田は皆に天災とのみ斷定する能はざるべし何となれば現に被害の甚だしき地方に於ては水利の便少く多くは大水に依つて其の潤澤を待ちつゝあるのみなり

鳳山載寧 地方の二大水利による箇所の如きは此の大旱魃に際しても尚左したる被害を見ず反つて稀有の豐作を示し居れり、自分は今回の旅行により西鮮地方の水利事業の一日も等閑に附すべからざるを今更の如く感じたり、地方一般

小農者 等が今期の旱魃に際して農を捨て、他に職を求めんとするもの續出し耕牛を放賣して穀類の買入れに汲々たるものあり、尙引續き斯狀繼續せられんか

必ずや 由々敷大事を惹起するなるべしと思惟せらる此に於て乎自分は現在の此等不幸なる小農者を救濟するの策を講ずるの

緊急 なることを切望する次第なり、今自分が今期の旱魃に際し最も適切なりと信ずる救濟事業は即ち土木工事の起業なりとす、往年岐阜愛知二縣の大災に際し時の政府は被害地に大土木工事を起し一面罹災民を救濟すると共に農業の振興を圖り非常の効果を收めたるが如き近くは昨年山陰道の

水害地 に於いても是れに由つて救民の目的を達したるが如き實に二者ともその效果大なるものありしなり（未完）

人口　大田・忠南

	總數	（男）	（女）	（人口）
（種別）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
內地人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支那人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

平家蟹が廣梁灣にもゐる

平家蟹と云へば櫃の浦で平家の落武者が殁落して蟹と化したものだと稱せられ甲羅に人の面の通りな斑紋があつて山口縣特有の產物の樣に思はれてゐるが此の平家蟹そつくりの蟹が朝鮮の廣梁灣にも澤山棲んでゐるから面白い。同地方の鮮人等は此の蟹のことを

毒蟹 だと云つて非常に嫌つて若し之れを食つたならば直ちに中毒して死んで終ふと云つてゐるが果して毒蟹であるか何うかは判らない（平壤）

平家蟹 平家蟹は胸甲類頭胸部長く前方狹く後方廣し背面は溝條著しく鬼面狀を爲す脚は第一對短大にして先端鋏を爲し第二第三對長大にして步行用を爲して第四第五對短小にして先端鈎狀を爲し之にて二枚貝類の介殼を負て體を保護す

小學生の體育に就て

第二の健全なる國民を作らんとするは吾等の義務也、我社は小學生の體育に關しては、常に主張する處あり、今や世界大戰の終結に際し、平和克復の記念として其の可なる者を採て之が實行を慫慂せんとするに當り、汎ねく江湖諸君の輿論に聞かんと欲し、敢て標題の如き題下に諸君の名論卓說を叩かんとす、奮て投稿あらん事を希望す

京城日報社

京城日報社

避暑地投票用紙

道名	地名

蟬ぶくろ

（七）初對面　仁川堂主人

奧村五百子と仁川民長

故奧村五百子刀自が遺愛の令嬢俊子女史すら既に五十歲に垂んとすることなれば、往昔刀自の事業の爲に鮮にて愛國婦人會事業の爲に奔走せし頃は、可成の年配なりしが往年自殺して果てたる富川民長の、初めて刀自に紹介されし時は、愛國婦人會員多數の面前に於てなりき。富川氏は其の時白髮頭の中爺さんなりしが、刀自よりは幾らも未だ若かりしより富川氏が恭しく『仁川居留民團民長正何位勳何等富川耕司』といへる名刺を差出して一揖すれば、刀自は無雜作に、名刺と富川氏とを見較べて『お前は幾つになる』と問ふ、一座は驚きたるも、我て刀自の事る挨拶に聽き入るより餘儀なく『未だ年幾つ〳〵に相成ます』といへば『まだ若いんだねエ』富川氏は古い海軍兵學校出身の人にして、嘗て官職に在りし爲め位階勳等を有して居たるものなりし日露戰役前後の仁川民長として、土地の爲に貢獻する所尠なからざりしも、其の晩年は不遇に終り、一度仁川にて自殺を企てしも果さず、其後鄕里大分にて自殺を遂げたりと聞く

土用の丑と鰻

土用の丑の日に鰻を食するといふこと、最近東京の諸新聞に、甚だ理由無きことなりとして、書き立てらるゝ樣になりたれども、傳ふる所によれば、江戶の昔、平賀源內とかが、土用の丑の日に當りて鰻屋の爲めに、漫然『今日うしの日』と書き出さしめたる所、人々訝りも判らず、只土用の丑の日に鰻を食すれば、暑氣排ひになり、且つ滋養にもなるべしと思ひて、爭うて鰻を買ひ求めたるより起れりとか傳ふ。

されば東京にて有名の鰻屋は其日に休業するを常とせり。それに就て面白かりしは、本年の土用の丑の日に、京城の去る鰻屋にて見越して燒き過ぎたるも、思ひしほどの注文なかりし爲め、餘儀なく翌日燒き直して賣物に出したるも、二日續きにて賣拂ひたりと云ふ珍談あり

明けば京城の事は知らざれど、內地の流行る所にて土用丑の鰻は多く前日より燒きて置く事多しとか。されど一度燒きたる鰻は中々腐敗せず宵越し又其の宵越しになりても、冷藏庫に之を保存すれば滅多に腐敗せずさかや。

商況

株式

東京現株（至急電報）

▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込	十八日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	▲二四〇、〇〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一八六、五〇〇
東拓	二〇・〇〇	▲六一、〇〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一二〇、〇〇〇
京電	三七・五〇	▲七七、〇〇〇
朝銀	三〇・〇〇	▲八一、〇〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	十八日前場大引	前日比較
東株	一八七、五〇	六、五〇高
同新	一八二、一〇	七、〇〇高
滿鐵	一七〇、〇〇	二、〇〇高
一新	一五〇、七〇	一、二〇高
二新	一一五、一〇	一、九〇高

京城現株（標準値段）

▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	二五・〇〇	一六四、〇〇〇
朝銀	三七・五〇	▲八二、〇〇〇
朝郵	二五・〇〇	四〇、〇〇〇
電興	二五・〇〇	▲二〇、〇〇〇
皮革	三〇・〇〇	二六、〇〇〇
東畜	一二・五〇	一九、〇〇〇
朝紡	一二・五〇	二六、五〇〇
朝紙	一二・五〇	三四、〇〇〇
商銀	二五・〇〇	六三、〇〇〇
滿毛	一二・五〇	三四、〇〇〇
滿糖	一七・五〇	三三、五〇〇
鮮煙	二五・〇〇	二六、五〇〇
輕鐵	二五・〇〇	五八、〇〇〇
鮮土	一二・五〇	二一、五〇〇
東亞（證據金加算）	一二・五〇	三六、五〇〇

東拓增資高

東拓株は同社の增資內定と共に益々人氣を呼び既に鮮外の商店に買進まれ居れるが內地電報遲延し且つは各店入電區々の爲め買躊躇の姿なりしが其週の入電は親所略一致せるもの、如ければ各百九十圓乃至六十九圓と報じ右は遙かに買氣付き百八十枚の商內を見たるが本日は又復百廿圓迄七十二圓と報ぜり既に同株は舊株の外の高値を現はし居れるも新株割當が從來の新舊株二株に對して三株を割當てらるゝ噂あれば愈々增資五千萬圓決定の曉は今一段の高値を現はさずやと云ふ

一般的氣配

日曜明けの當地市況は內地電報延着の爲め一般に活氣立たず商內株として揭げたる內地株は三四日前に取引されたるものが漸く日曜前に賣付けされたるものにして少しく相場の變動を呈し來れるも昨今前記の如き電報大遲延せられ買付困難にて迂闊に成行買を爲せんか豫想外の高値を摑ませらるゝ虞れあれば一般に內地株は見送りの狀態なり然れども地株は可成の好況を呈し電興、鮮土、朝鮮紙の如き依然ヂリ高步調を持續し居れるが花形の仁取株は旬日來の高值買進みに一方利喰物も可成りの數に達したる爲め稍伸び惱みの姿となり東拓株は增資氣構へに益々新高值を現はして人氣を呼び皮革株は內地の漸騰氣味なるに拘はらず昨今商內を見ざるは頗る奇異とせられ居れるが之れ朝皮會社最近の內容未だ一般に知られざる爲ならんかと云ふ

仁取株伸惱む

一擧百七八十圓處上伸せんかと期待されし仁取株も日曜明けの今朝は稍伸び惱みの狀を呈したるが之れ東亞煙草が案外安値迄賣込まれたる爲め其の拂込期限切迫と共に仁取を犧牲とする向あるやにて昨今賣物出たるため一段と高値なるべきも元來が何等の弱材料無き同株なれば今後伸力は多少鈍るべきも低落を見るが如き事は萬々無之かるべしと云ふ

大阪竹原商店特約
東京山一合資會社特約
公債株式現物賣買
新田辨市商店
京城櫻井町一丁目　電一八八一・二三九〇

東株漸次引返

東京株式は大阪高に連れて漸次引返し氣味となり本日入電に依れば東株六圓五十錢高新東七圓高滿鐵二圓高一新一圓二十錢高同二新一圓九十錢高と孰れも見るべき值中の昂騰を告げ後氣配强硬なるが如し

東亞煙草商內薄

東亞煙草は過般拂込額決定後三…

土地株の流行

大體に於て不透明商狀を脫し難き折柄土地株類は特殊の買人氣に襲はれ何れも好景氣を呈せり右は主力株に對しては多少氣迷の傾向ありて島渡手掛りのなき折柄なれども土地株類は其性質よりも比較的安全なる値嵩の點より見るも云ふ所に依り將た前來港土地は特に好材料を喧傳せられて買上げらるゝに至りたるを以て買氣の餘波は遂に同種株の全般に及びたる次第なるが其尾大港市兩等何れも其實質の解剖より得たる値打ちに至りては元より現在の値頃を高しとせざる强味あれども特に此際を利用して鞘ぎの現はれつゝある傾向あれば漫然たる高値買は警戒を要すべく寧ろ斯かる場合にありては近來多少輕侮の眼を以て臨まれつゝある大株大新等に面白味を宿さずやとの唱へもあり

增資說と人氣

既往に於て幾度も繰り返されたる大株の增資問題は昨今に至つて又復市場に喧傳せらるゝ事となれり右は一部有力者が增資を必要とする理由書を提げて同志を糾合し近く具體的運動を開始すべしとの消息を指示せるものなるが元來大株株式の需給狀態より見れば今少しく其數量を增加するに非らざれば却つて小數なる仕手關係により人爲的に相場を支配せらるゝ處あり又我が財界に於ける證券市場の地位を安固ならしめ且つ發展せしむるには又之が實行を必要とするは元よりなれども現在に於ける買狀きか否かに就ては多少疑ふべき餘地なきにあらず只右の提案に同志の運動が其機會を促進するに與りて力ある事は之れを認めざるべからざるを以て市場の人氣右の實現を信ぜざらんとして知らず〳〵之れに引付けられんとする傾向あり

本日の商內株

▲滿蒙毛織三十五圓にて二百十枚▲鮮土二十二圓にて百枚▲朝紙二十四圓七十錢にて五十枚▲仁取百六十三圓五十錢より六圓二十錢迄三百十枚▲滿蒙第二新百十五圓より七圓五十錢迄八十枚▲朝銀七十九圓より八十三圓迄二百五十八枚▲日糖新六十六圓迄二十錢にて三十枚▲東京電燈三十圓七十錢にて四百枚▲大新二百七十一圓五十錢にて三十八枚▲新東二百九十七圓より六十八圓迄▲郵船二百七十七圓にて二十枚▲同新百三十四圓二十錢にて百枚▲紡織二十五圓にて五十枚▲東拓六十五圓より八十一圓迄百八十枚▲滿糖三十四圓五十錢にて二十枚▲久原百四圓五十錢にて二十枚▲同新五十圓五十錢にて十枚▲溜取百五十八圓五十錢にて十枚

大阪だより

▣宇治川水電と大阪電燈との競爭は近頃一層に露骨となつて來た其の著しきものは宇電の日本電力計畫に對する大電の日本水力計畫である

▣宇大兩電の將來が果して合併…

…勢ひに大阪電力界の現狀は一流事業家の手腕競べや勢力爭ひの犧牲に甘んずべき時代でない筈であると共に大阪電力供給に大責任を有てる兩社當局は今少し眞摯に此の問題の解決に努力する義務があらう

米況

東京期米特電

十六日後場		十九日前場
寄附	三七、四九	……
高値	三七、四〇	……
安値	三七、〇〇	……
止め	……	……

大阪期米特電

十六日後場		九日前場
寄附	三七、九三	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

神戶期米特電

十六日後場		九日前場
寄付	三七、五五	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

下關期米特電

十六日前場延著（暴風雨）	當限	中限	先限
寄付	三六、〇〇	三六、〇〇	三六、〇〇
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

仁川期米

十八日後場（高保合）

今朝天候依然快晴に阪地の存外氣乘薄にも拘はらず旱魃見越しの買氣熾烈に當中出來ざるが先四十三圓九十錢より因の策戰買ひに來り克く買ひて安値攔みの煎れを誘ひ四十四圓臺を突破し高値は十五錢と反撥を演じ…

▲第三節　當中出來ざるが先◯の大物を克く買ひて全の大引…
▲第四節　當中出來不申先十五錢より三錢と弛みしも押目は買物裏へず七錢と引締まり六錢と…
▲第五節　當中無商內先③買に…

波瀾愈大ならん

一昨後場は賣過ぎ反動と旱魃買に强硬なる大引を告げしが前途の天候も飽迄快晴を續け前途悲觀の買氣强く今前場は先四十三圓九錢と四丁高に寄付㋐き賣…

十八日前場

寄付	止め	高値	安値
四三、九〇	四四、三〇	四四、三三	四三、九〇

◇公定相場

一節	二節	三節	四節	五節
四四、一四	四四、一一	四四、一五	四四、一二	四四、一八

◇出來高　三十二萬八千百石

◇帳入値段

當限	中限	先限
四十三圓三十一錢	四十四圓二十錢	四十三圓八十九錢

…之全の大賣物に七錢と押したるが押目は因㋐㋟好く買ひ遂に引際煎れ高に三十二錢と打止めたるが場面の形勢は旱害見越しの買氣益々旺盛を加へんとするに半面には釜山群山鎭南浦其他沿線地方の有力は㋐㋟全等の各店より猛烈賣物を發しつゝあるが如く賣勢と天候乃至仕手の關係は今後如何に展開すべきか眼前大厄日をも控へ居れば波瀾愈々大なるものあるべし

取組高

當限	中限	先限
四千四百石	六千六百石	四萬八千五百石

下關米取引所仲買
桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度候
御取扱可申候
下關第一銀行　十八銀行

市場雜觀

此の頃は實際の天候相場で空が曇つたと云へば弱氣より賣崩し晴れたと見れば引戾すなど硬軟共に侮り難く五分の勢力を示し隨つて騰落も激甚であるが其れに附添ひの提灯屋は殆んど立運れの有樣で高値を買つては安值を賣る此調子では提灯屋の成金處がヤラレ金とはねばなるまい斯うなるのも全く硬軟の材料に拘はらず一二の有力者に前捉け喚びの策戰があつて之に左右され居る結果なるが如きも現在の賣方は殆んど鮮人筋にして農作旱害を見越して阪地より三百丁乃至三百五十丁は鮮に無理な買居ると釜山、群山の正米採算より百丁以上の鞘に有る爲め自然正米筋は旱魃を豫期しながら卸高の定期に買緊いて來る傾向があると打續きの日和見で雨を見越しの買物添ひ存外伸力を壓迫されて居るが賣方は此の天災期の市場に鞘關係を論ずる事は出來ぬと只々無理算當に旱害を買進んで來るので自然相場も喰合ひと云ふ結果に陷入つて居る併し此の保合岐れば阪地の成行に依る事ならしも賣方としては一寸材料を買盡して居る振合が有るので此儘天候の快晴を持續されるも阪地の突飛高を移すかに他に新材料の現れざる限り實質の正米關係から推測しても依り以上の高値は一寸豫期出來難くも思はれる結局は此邊に大巾保合を繰返し新材料の出現と相俟つて眞の騰落を演ずる者と豫測されるゝ之以上の旱魃買ひは一寸危險が多いと見ねばならぬ釜山、群山は豐作氣講へに正米も減切安を移したれは只一部の旱害に脅かされ全鮮米の權威を爭ふ公定市場として飛付き買ひは大に考へものと或有力者は語て居る

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目
仲買店
電話　長九〇五番　四四番　八三二番

京城正米市場

昨日曜は頭上の雨懸念に人氣がボンヤリ氣味なりしが快晴愈々雨を望み難く今朝は一轉高値の樣となり鮮人筋の思惑の買唱へとなり地摺非上四十一圓見當乃至賣惜み益々强し一方精米筋內地商談不振の折柄各自相當原料の準備もありて相變らず買控へを固執し居れり昨今の商內は鮮人筋の思惑買あるに過ぎざるが昨今西鮮地方の旱害甚しきに反し南鮮地方は槪して作柄良好を傳へ二三地方には豐年踊りさへ行はれつゝありとて殊に內地の豐作見越しを傳ふる等…

仁川正米市場

定期は人氣消長で漲落を演じ騰ぎ止米市場は一向顯著せず商一に出來ず市場は殆んど寂寞を極め三等米神力種四十三圓四五十錢見當の唱へなるが賣方も…感人氣は矢張り保合ひにて平澤の出もの今擂にて四十四圓より二十錢見當の唱へなるが賣方も高値を買進む…賣方の米も見らぬと云ふ有樣なれば…精米筋の買進み…にて商談出來ざる如し

各地正米相場

大阪に於ける群山三等正米（十六日）四十五圓七十錢
釜山三等正米　四十三圓八十錢
仁川三等正米　四十四圓十錢
群山三等正米　四十三圓（保合）
大阪に於ける群山三等正米（十七日）四十五圓八十錢
釜山三等正米（十七日）四十三圓七十錢

綿布は賞見送り

綿布は日々高まる旱害の聲に賣行き益々不振となり當業者としても貸掛金の回收に付て頗慮深き折柄地方に對しては賣込みを强ゆるは危險とせられ多く賣控勝にある爲め自然仲間取引にも影響して此處賣物の多きに反し買人なしといふ狀態を示し氣配は漸次惡化の傾向にて粗布三エー現物四百八十五六圓十先二十三圓二十錢賣二十三圓賣とヂリ〳〵下押し模樣なり

支那粟新高値

支那粟は氣高の裡にも天候懸念と值頃觀よりして二十圓目標を進み兼日曜前日の如き海成物の十九圓五十七十錢と伸惱みの形勢を示したるに懸念の天候は愈々模樣となりたれば昨日來再び買氣を强め同日午後には二十圓の新高値を示し今朝は更に二十圓五六十錢と突走りたるが跡西鮮地方の注文と當業者の客買に一般氣勢を揚げ跡二十一圓次下の賣物殆ご絶へたる有樣にて眼先此儘天候を持續せんか思惑更に加はりて形勢迄相場を釣上ぐるや側り難し

小豆更に昂騰

小豆は粟其他特種穀物に次で思惑益々旺盛にして氣配更に六七十錢高を示し龍山物三十三圓牛二十九見當を唱へられ龍山大玉上品に至つては三十九圓迄出來せり

亞鉛引平板惡化

一時在荷の拂底を唱へて四圓五十錢迄上りし平板も其後行過ぎ反動と輸入楷へにヂリ〳〵軟化し最近四圓見當に引弛み漸く持合商狀を呈せしが昨今弗々輸入を見るに至れると跡繼續いて英米兩國の廻着少なからず然かも之等は非常の安値に約定行はれしものなれば順次輸入のあるに隨ひ競爭販賣の避け難き形勢あるが如く自然氣配も下押し模樣を呈し昨今三十番の三圓八十錢をへらるゝに至りしが如上の理由にて前途或は二圓臺たれを看すべきや測り難し

鐵條網反騰

近來低落に低落を重ね鐵條網も勞働問題の餘波を受けたると來品の輸入遲延によりて內地品の補充品に需要の增加せるに連れ阪地入電は四五圓方の反撥を報じ來れり當地は今日の處三十一圓見當を持續しつゝあるも採算上近かく幾分の引上げは免かれざるべし

錫は入荷順調

錫は本國益々高報あるに拘はらず本邦市場は昨今輸入の順調に隨つて氣崩れ模樣を呈せり當地又反撥高を受け數日前迄百七十二圓なりしもの此處七圓落ちの百六十五圓に下れり

豫報（後六時）

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中央）
電話一二一〇二番

安住かとりり線香
僅に數本の煙で其効果殆ご奇蹟の如し
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區富田町　安住大藥房

入院隨意
片山內科醫院
京城太平町二丁目七十三（太平町入通り）
電話一九五一番
片山信夫

名譽金牌
最上醬油
元造　日本醬油株式會社

京城本町一丁目一九（舊戶川橫入）
利根川齒科醫院
診療時間（自午前八時至午後七時）
利根川靖治郎

日本名刀傳 百卅五

東京 田邊南龍講演

堀川の國廣(七)

謙信上洛して二條に旅館を賜はり、畏れ多くも參内致して天顏を拜し天盃を賜はり面目を施し是れより謙信は朝廷の御爲めに粉骨碎身、近國の大小名を切從へ、我儘なるものは取つて押ゑ實に其勢ひ破竹の如く京都の人々も皆悦びました、そこで足利將軍は輝の一字を謙信に許しましたので是れより上杉輝虎入道謙信と申します、謙信の部下五千人の中には都には良き刀鍛冶が居ると聞いて居りますので、京都の刀鍛冶は是等の人々の註文で忙しいこと一方なりません一條堀川重昌方でも非常の註文國廣明壽の二人も監役働らいて居る、註文は多くは右手差、鎧通しなどと云ふ類でありますが中には鬼小島彌太郎、黒金野上介などと云ふ豪傑は態々重昌方へ自身來つて三尺五六寸もある野太刀を註文致しました、國廣は故郷に居る時から上杉謙信の人と爲りを慕つて居りましたが此時親しく謙信の行動を見て益々感心致し、黒金上野介が重昌の宅へ來て種々謙信の話を聞い下、黒金上野介に頼んで謙信の客分となつて越後へ是非連て往つて呉れと申し込みましたので謙信快く承知し、刀鍛冶ともつかず武士ともつかずに唯客分として供の中へ加へて越後に連れて行く事になり、茲で一日謙信に目通をしました、もとより怪力非凡なる國廣、普通の刀鍛冶にて滿足せず、自分の鍛ねた三尺七寸の大刀を振つて大いに戰場に馳せ向ふと云ふ意氣込み後に川中島に手柄を現はしますこゝで一寸川中島戰ひ即ち日本の孔明と言はれる武田信玄と謙信と川中島で戰ひを交へます一條を離れて申上て置きますが、信州十郡の中五郡を領して居りました村上周防守義清、同じ源氏の一族甲斐守武田信玄の爲に亡ぼされ、僅の兵を連れて川越に越後の春日山なる上杉謙信を頼ね援けを請ひました、其の時謙信涙を流したのは、村上義清幾度も謙信に頭を下げ『拙者此度故無くして武田信玄に所領を取られ、多く家來を失ひ漸く是迄逃げて參りました、謙信公の御力を以て武田家へ御扱ひ下されて、五郡の中一郡だけなりと拙者の所領に戻りまするやう御取計らひ願ひたし』と申入れた謙信は『如何にも氣の毒のことである、早速使者を出し武田家に掛合ふてやらう』と云ふことになり、鬼小島彌太郎を使者として甲州に遣つた、信玄は八花形の館に居りました、鬼小島が使者に參つたと云ふことを聞いて曲淵庄左衛門が取次に出で、信玄の前へ案内して上杉家の使者なることを披露した、鬼小島に向つて『何用あつての使者なるか』と尋ねた、鬼小島は『早速お目通り仰付けられて難有う存じまする、此度參上致しましたは餘の儀ではございません、信州の村上殿御當家に攻められ越後に逃げ來つて主人に頼み、五郡の中一郡たりとも御返し下さるやう御許らひ願ひたく、御當家の村上は御當家の部下に從ひます、此儀御許し願ひます』と申し入れた、信玄大口開いてカラ／＼と打笑ひ『我等村上の領地を取るには多くの人を殺し、矢玉を費して居る、然るに上杉如き乳臭き者の一言にて何で村上に一郡たりとも返すべき、立戻つて謙信に告げよ、殘念に思ふなら何時にても相手になつて遣はす、左程信州が欲しくば弓矢で以て取られたもの、弓矢を以て取返せ』この言葉に、鬼小島口惜しいけれども仕方がないりますか『それでは何れ戰場でお目に掛ります』と立掛つた。

京城本町一丁目 野田時計舖 (電話[illegible])

安東縣と虎疫

檢疫醫著任 關東防疫事務囑託檢疫醫渡口精鴻氏は十四日内地より來安し滿鐵病院内にありて專ら檢疫事務に從事すべし又虎疫專屬看護婦二名は十五日同院に着任したりと

▲花柳界の戒 虎疫益々蔓延の兆あるを以て安東警察署に於ては各料理屋に戒飭を下し生魚其他原料に疑はしきものは一切客膳に上す事相成らぬと申達せり

▲興業物如何 安東縣に於ける興業物は支那向ものも丈け既に興業を禁止したるが當分の内日本人向の興業は許可しつゝあるも虎疫蔓延の如何により何時にても中止の厳命を下す方針也と

八月二十日

(舊)七月廿五日 水曜日 ▲きのへたつ ▲五黄 ▲先勝 ▲鬼 ▲なる ▲定 家忌

▲五黄▼分を守るべき日なり
▲六白▼大に意を强ふすべき日なれども油斷は大敵と知るべし
▲七赤▼繁昌の日にして目上の引立を得るやも知れざる日なり
▲八白▼願つたり叶つたりの吉日にして諸事意の如くなるべし
▲九紫▼結構な美事なる日なりご驕るときは失敗するに至らん
▲一白▼表面は惡き日の様なれど誠實なれば福運必ず來るべし
▲二黒▼吉運の來るべきの日なれども奢らば却つて失敗す
▲三碧▼表面は惡き日の様なれど窮すれば有力なる後援出でん
▲四緑▼腹の立ち易き日なれども一面には何となく床しき日也

諸戸タオル 一手販賣 タオル 京城若草町四〇 卸商 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三二一番

御婦人方の大福音 子宮血の道に惱む御婦人は彼是と迷はず回血湯を召上れ
元尾崎病院長大谷博士の御方劑にして如何なる難病も五週間服用すれば全治する事疑ひなし婦人病にて通じ惡くヒステリーの件ふ御婦人方は回血湯二回分回血丸添服すれば通じを心良く腦に徹め全治する事速かなり子宮内膜炎にて腰氣の下る方に外用子宮玉を用ゐれば子宮の熱っ取り腹の塊りを全治す
婦人靈藥 回血湯

梅毒りん病妙藥 梅毒全滅 敗毒丸 大連信濃町八十二號地 本舖 本田金生堂 各地到る處の藥店に販賣せり

職業 切賃與し工賃日拂 製品永久確實買受 無料明見本進呈 特約店募集 專賣特許内外實用品 近男女自宅出來 年中無休機具一 熟練 ... 二圓迄 大阪天王寺大道一丁目三九一八 豐國商會

自動車 運轉手技師販賣員其他各員 甲種運轉手養成 每月受業開始其他技術科設計科 及成功責任校外生募集規則送呈 東京京橋 東京自動車學校 大阪市南區 大阪自動車學校 福岡市中島町 福岡自動車講習所 開祖東洋第一番の本校卒業生は

八木田博士處方 島田博士御鑑査 アナタの胃病にはマーゲン 強胃消化錠
本劑の特色 二博士御鑑査の本邦唯一の胃腸新藥 マーゲンは病源と共に根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃弱を治し胃を強壯にす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保樂房

クダリはらによし
赤玉 AKA TAMA 腸病靈藥 固腸丸 松本順 鮮滿無數の特約店に販賣す

十日の便秘も一服で通じる其快よさ
健通丸
クセニナラズ よくつうじる
大阪市北濱 合資會社 參天堂藥房 電話本局一二〇四 一二〇五
定價十錢より壹圓まで各地の藥店にあります

醫化學諸器械 藥種賣藥卸商 Ⓚ 京城本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番 仁川本町 北島藥店支店 電話七六番

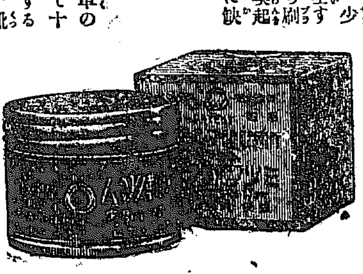
內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七〇 三九九

驚く可き効力ある目藥 專門學者の創製した『直治水』は學理上實驗上絕對優秀なる現代唯一の理想的目藥であつて、知識階級に專ら賞用せらるゝ進步的良藥である。
眼病良藥 直治水 CHOKUJISUI
三大特長 □眼科最新高貴藥を配伍す □『タツター』一瓶にて効驗現はる □根本的に視力を強くす
主效 トラホーム ただれ目 はやり目 かすみ目 星目 うみ目 結膜炎 雪目 其他眼病諸症に特効あり
藥價 新式點眼器付 十錢、二十錢 各藥店にあり 本舖 大阪 東京 丹平商會

船遊や川遊に
お出かけの時とお歸宅後はホーカー液をおつけ下さい
日ヤケ潮ヤケを防ぎ始終お顔の色を白く保つ
東京で一番よく賣れる國化粧料
ホーカー液
特長
□日ヤケ汐ヤケ・アセモを防ぎ、色を白くし
□汗や脂肪を去り絕對に惡臭を除き
□蚊や虫サ・レ後によく、ニキビの心配なし
□ヒゲソリ後に用ゐて剃刀かぶれの恐ひなし
全國到る處の小間物化粧品店洋品店藥店等に販賣す若し品切の時は本舖直接振替か切手にて御注文を乞ふ
定價 大八十錢 中四十錢 小二十錢 內地送料六錢 滿鮮四十錢
本舖 東京神田須田町 堀越嘉太郎商店 電話神田四三四 四四五 振替東京五六

臺灣總督府專賣局方劑 消毒防臭劑の元祖 後藤デシン 類似品續出 後藤デシンと御指定を乞ふ

靴の使用能率を極度に發揮すべき ○ミツワ靴クリーム 黒、赤、定價一個金參拾錢
如何に高價なる靴と雖、其手入れ即ち靴クリームを以て、常に磨くことを怠れば、使用能率を害し、早く不良破損を生ずるものなり、靴と靴クリームとの關係は、恰も機械に油の注入が絕對的に必要なるが如く、是無くして靴の保存耐久は望むべからず、而して靴クリームは優良なる品質を具備せるものを使用せざれば、無効なるのみならず、却て皮革に損傷を與ふることあり、靴クリームの必然的要素は、皮革の保存耐久に効果を有し、少量を以て迅速に十分なる光澤を發揮し、美觀を呈することなり、現代科學の進步は粗惡なる靴墨即ち刷子を用ふるものを驅逐し、靴クリームの需要を喚起せるが、尚品質粗惡にして靴クリームたる要素に缺くもの尠からず
○ミツワ靴クリームは
從來の靴クリームの諸缺點を悉く除外し、皮革の保存耐久に効果ある成物質を配合し、少量を以て十分なる光輝を發し、耐水性を具へ、塵埃を吸着する粘着性なき優良無比、極めて完備せるものなり、靴の使用期限を永からしめ、且つ美觀を保つに缺くべからざるものなるが、殊に本品の誇とするは、專賣特許を有することにして、他の靴クリームに卓越せる特質效果を有するは、此事實を以て保證するに足ると信ず。即ち靴クリーム中の代表品たるべき逸品なり。



ミツワ石鹸 ミツワ香油 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品
發賣元 ○ 東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店
賣捌店 靴店、洋品舖、化粧品店、雜貨店 洋酒食料品舖、文房具學校用品

日本郵船仁川出帆

大連、天津、牛莊行 濟州丸 八月 日正午出帆 高砂丸 八月 日正午出帆 相模丸 八月 日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ 仁川海岸町一丁目 電話[illegible] 郵船[illegible]

五光商會 汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三[illegible]丸 八月 日 釜山發 元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三[illegible]丸 八月 日 元山發 釜山發
釜山 大池回漕部(電話一一二) 元山 田口回漕店

尼崎汽船仁川出帆

濟州木浦下ノ關大阪行 赤心丸 八月 日後四時出帆 一心丸 八月 日後四時出帆 神代丸 八月 日後四時出帆 秀吉丸 八月 日後四時出帆 君が代丸 八月 日後四時出帆 大有丸 八月 日後一時出帆
○印船客御斷 △印二三等船客無
仁川海岸通二丁目 電話九五番 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社
▲大連直行 第二共同丸 八月 日午後入港 八月 日正午出帆
第十一共同丸 八月 日午前入港 八月 日正午出帆
▲青島直行 第六共同丸 八月 日午前入港 八月 日午前出帆
▲秦皇島行 第十三共同丸 八月 日午後入港 八月 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱大連にて青島行定期船接續荷客共通輸送
仁川代理店 本町四丁目電話一七三番 野口商會
元山代理店 春日町電話二百七番 田口回漕部
京城取次店 南大門通二丁目電話二七六〇、八二三 河村運送店

朝鮮郵船出帆

大阪商船會社の協め發着日時變更する場合有之候に付詳細は本社又は各地支店出張所代理店に付御承合被下度

▲敦賀行 浦潮、城津、元山經由 平安丸 八月廿三日 清津發 八月廿六日 元山發
▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、清津經由 越後丸 八月廿七日 釜山發 八月廿九日 元山發
▲雄基行 關門發釜山各港經由 京畿丸 八月廿九日 釜山發 九月一日 元山發 雄基丸 九月三日 釜山發 九月六日 元山發
▲元山雄基線 雄基間往復 元山起點各港經由 鏡城丸 八月三十日 元山發
▲大阪行 釜山、關門、神戸經由 清津、城津、元山 越後丸 九月四日 元山發 九月六日 釜山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山各港經由 京畿丸 九月九日 元山發 九月十二日 釜山發 平壤丸 八月三十日 元山發 九月二日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭石浦經由 長箭行月六回但自六月至十月間 鏡城丸 八月廿三日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 孤德丸 八月廿四日 釜山發
▲濟州島行 釜山發木浦、承州經由 昌平丸 八月廿六日 釜山發
釜山浦項線 釜山、蔚山、方魚津、九龍浦經由 ○宗信丸○慶尚丸 釜山浦項間互ニ毎日一回便
▲濟州島行 木浦發東廻ハ所安島經由西廻ハ楸子島經由 東廻 慶興丸 八月廿七日 木浦發 西廻 公州丸 八月廿四日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山麗水往復 釜山麗水相互ヨリ毎日一回出發
木浦麗水線 釜山木浦麗水ニテ接續 順天丸 八月廿八日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島 慶興丸 八月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 晋州丸 八月 日 仁川發
▲鎭南浦行 仁川發各港經由 濟州行○全州丸○南陽丸 仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆 天陽丸 八月廿五日 仁川發
▲大連青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 八月十九日 仁川發
朝鮮鐵道及國外船ト荷客連絡ア リ
本社 京城南大門通(電話長三三一 三三二)
釜山佐藤町 釜山支店 元山海岸通 元山出張所 仁川代理店 堀回漕部 木浦代理店 山野回漕部 京城荷客取扱店 公原運送店 京城南大門驛前
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一一七〇

京城日報
第五版
（年中無休刊）

本紙定價 一部金參錢 一箇月七十五錢▲郵稅一箇月五錢 前金一箇月同 ▲六箇月同 ▲一箇年同
廣告料 五號十四字詰一行一圓▲特別二號二圓▲三號十二字詰同一圓五十錢 ▲四號九字詰同二圓▲六號十六字詰同一圓
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇二番

土耳其の盛衰（三）

東大文科教授 齋藤博士講演

政治が紊れて宮廷的な政治が始まる、支那や露西亜にも斯う云ふ經驗はあるが此奴が最も善くないのである。是れが抑々第一の原因である。第二には其の結果として政府は政治に無頓着で善政を布き人民を王化に浴せしむると云ふことを考へなかつた。武力に依つて征服した領土に對してはジャニサリー軍隊の補充の爲めに赤ん坊を取り上げることゝ、苛税を課して取れる丈けのものを人民から取り立てることを主眼とし後は打つちやらかしと云ふ態度であつた。是で何うして宗教を異にし民族を異にする新領土の人民を服せしめて行くことが出來よう、而も十九世紀の頃からして歐洲各國には民主思想が漸次旺盛になり凡土耳其の暴圧々々して居る間に歐洲諸強國が勃興して離反せんとする土耳其領の各民族を援助するに至つた。第三には彼等は國勢の盛んなると共に其の文化を進めることを大いに努むべきであつたのに夫れを怠つたのみならず同教の煩雜なる教義規律が近代の新文明に適應することを妨げたのである。自分自身が新文明に順應し得ない位だから他人を導かう抔とは思ひも寄らない此の三つが土耳其衰頽の原因で今日の悲況は寧ろ當然と云ふべきである。然し更によく考へて見ると土耳其が自然に斯る運命を招致した根本の原因は其の國民が大帝國建設の後も依然遊牧の民たる性質を脱することが出來なかつたからだと思ふ。元來彼等は水草を逐ふて彼方此方と移り住んだ所の遊牧の民である總て彼等の行ることが此の性質を全然脱し切らないで例へば或る地方を征服しても其處を永く大事にして產業文化の發達に盡すと云ふことを考へず子供と財取れる丈取れば後は野となれ山となれで構はない。一般に斯う云ふ遣り方をしたのである。尤も土耳其が起つてから今日迄には四五百年も經つて居る。國民も其間の經驗に依つて自己の缺點に氣付き近年頻りに改革を企て居る。一千八百七十六年に一度失敗した憲政施行は一千九百七年愈々實現した。元來憲政を布くのは何處の國でも民權の伸張が眼目である。土耳其が君主專制を廢して立憲制になつたのも自由思想の爲め民權の伸張ではあるが、是れが發頭人は彼の青年土耳其黨であつて同黨の此運動を起した第一の目的は國權の回復と云ふことであつた曾ては世界に覇を稱したる土耳其を以前の强大に復させなくてはならぬと云ふ目的で起つたのであるが此運動が若し十八世紀の末か十九世紀の初めに起つたならば或は成功したかも知れぬが其の時機が遲く大勢既に如何ともすべからざる狀態となつて居たから其の計畫も甘く進捗せず最近獨逸と提携して目的を達しようとして居たが大戰の爲め全く失敗し遂に元の小亞細亞に引込むこととなつて仕舞つたのである。（終り）

產米增殖問題と朝鮮（十一）

黃海社長工學士 松山常次郎（寄）

此の如き事情によつて第二次に入り込んだものが先づ成功を收め得たのである。然るに第一次に入り込み下田を買收したる連中に其困難よりの脫却せんと焦慮せる結果極めて進步的となり或は水利灌漑の事業を起し或は營農法改良に苦心し其或續進に前の成功者を凌駕するに至つたのである。然し乍ら一般に申して朝鮮の土地に着眼したる者は皆成功して居る。猶今後と雖も朝鮮の土地事業は極めて有利有望なるものである事と雖も朝鮮の土地事業は極めて有利有望なるものである事を信じて疑はない。何となれば我國が產米增殖を必要とする情勢に鑑み朝鮮が供給地として最も嘱望せらるべき地なるを思ひ、一葦帶水を隔て、內鮮に地價の著しき差異の現存する實情を觀察して然あらざるべからざる必然の歸結をして之れを云ふのである。

新農場に於ける小作人問題

朝鮮に於て開墾事業を起し新に大農場を經營せむとする者の第一に知らんと欲する所は如何にして小作人を得べきか或は從來の實情如何を云ふにあるだらう斯土の文化の爲め富源を開發するに當り多く內地人を移住せしむる事の必要なるは今更言を俟たず。新農場を開くについて技術幼稚なる鮮人農夫の間に熟練なる內地人を配置する事は必要なる事である。之れについて從來幾多の企が試みられ多くの失敗談も成功談もある。東洋拓殖會社は政府より補助金を受けて移民を招致する策を講じて居る。東拓移民については一時內部よりの不平多く起り其の成功を疑はれて居つたが近來農產物の高價になれる爲其借金を支拂ひ負擔を輕減し一般に落つく樣になつたは喜ぶべき事である。東拓は移住者に一戶約二百圓の移住資金を低利にて貸付けて居るが相當の資產ある者は移住後の成績良好なりとて其招致に殊に力を入れて居る樣である。東拓の外個人經營の農場に於て移民招致を試みたるもの又少なからず村井農場の如きは其成績甚だ良好にして中には約三萬圓の資產を作り三十町步の地主となつたものありと云ふ。川崎農場に於ける實例を聞くに移民は鮮人同樣に勞作するを厭ひ偶々群山に出で、仲仕勞働者の日に一圓五十錢或は二圓と云ふ收入あるを見て之に走り農場を離れたる者多しと云ふ。德島縣より京畿道高陽郡漢江沿岸に團體移民として來りたるものは或は京城に出で、商業を營み或は他の勞働に移り落着に其地に止りて農業に從事するもの三四十戶の內僅に三四軒に過ぎざるに至つて近來其貸付地處分に紛議を生じて居る。

平和後の國際金融（一）

日本興業銀行參事 一色信一氏談

國際金融に對する日本の地位は二樣ある即ち一は國際金融市場方面であつて一は國際財務方面である今吾人が述べんと欲する處は即ち此の後者に於ける或一部分に過ぎない凡そ金融の將來を見越すといふ事は至難であつて英國人等は實務上決して將來を豫想しない併し乍ら只漠然として事を爲さんとせば其の手段方法の案出亦甚だ少からざる困難を感ずる次第である即ち是等の意味より多少其の將來を見越す事は必要であらう即ち吾人は戰前戰後の金融界を對照し現在の世界は如何なる方面に向つて進みつゝありやといふところで結論を執りたいと思ふ

六月廿八日は實にベルサイユに於て各國委員の調印を了したる記念日である即ち人心は茲に至つて漸次平調に復歸しつゝあるも經濟上に於ける變化は猶變ふべきものがある即ち這回の戰亂は軍事政治教育宗教思想等各方面に亙つて大變動を齎し同時に經濟上の變化は實に甚大である而して吾人は今各方面に涉つて金融上の關係を見たいと思ふ、抑も國際間の金融の要素は海外投資である即ち海外貿易に密接なる關係を有してゐるものであるが所謂從來の國際貿易は既に過去の時代のものとなつて今や貿易は資本に從屬する時代となつてゐる即ち貿易は

資本に依りて導かれ

行くものであつて金融は貿易の開拓者である彼の英國が戰前に於て貿易上世界優越の地位を占めてゐた其原因も即ち是であつて只に英國が多數の殖民地を有してゐるのみ此地位を贏ち得たるものでなく又大海運國たるが故に依つてのみ此の地位を占め得たるものでもない之れは英國獨特の資本の力に依るものであつて英國の戰前に於ける海外投資は千九百十四年の調査に依ると三百八十億乃至四百億に達してゐる此の海外投資は戰前に於る英國獨特の力であつて英國が世界貿易上優越の

地位を占め

得た重因であつたサー。ジョウジ、ペーシ氏は英國を評して『英國の繁榮と貿易の優越とは主として海外投資の結果である』と言つて居る戰前に於ける米國は八十億の債務國であつた然るに戰爭勃發以來の米國は大に產業の發達を計り各交戰國及中立國に對する物資の供給を多大ならしめ遂に千九百十四年に於ける貿易額四十二億は一躍して千九百十八年末には八十八億といふ莫大なる增加を示した僅に此の貿易の點より見るも既に債務國たりし米國が一躍して債權國に變じたる事實を知るに足るであらう而して千九百十四年に於ける米國の輸出額二十三億は千九百十八年に於て五十九億に激增したるを以て其の殘高は悉く海外債權とした（東京支局）

川柳談語

劍花坊

漢詩、漢文の成語を應用した古川柳を數へて見るとまた少くない。

二四不同なかりし三五夜中

の詩。『三五夜中新月色、二千里外故人心』白居易の詩。

借錢のよけいはいやなゆづりもの

『積善の家に餘慶あり』の洒落。

色外にまだあらはれぬ山歸來

孕んだものとしかに看察される。

水茶屋で世の人口を實にし
我未だ精進と云ふ日を知らず
親仁へは古今無双の嘘をつき
薪水の勞を助くゝる下女が色
陽虎ではござりませぬと曰く
三日は鳴呼ひだるいと曰く
鳥にだも如かざる內儀美しき
北辰のやうに伸頭大あぐら
吳服屋は小敵と見て侮らず
お妾の西婦の勇で河豚を食ひ
朝歸り天高ければせく〵まり

讀者が先刻御承知と思ふから出典の講釋は一々しないただ朝鮮をするソレシャ上りの妻を『鳥にだも如かざる』と用ゐたなどは面白いでは無いか。

鍊膽錄擱筆に臨みて

三笑生

鍊膽錄は、全く社務の餘暇に成つたもので、結構文章、共に醜る拙劣なものなるにも拘らず始終御愛讀を賜つたことを深く感謝致します。餘りに永くなるのも面白くありませんから、自然此に致しました。

世界思想の潮流は、澎湃として我東洋にも流れて來ました。そして此の大波ばかりは、一寸其處いらで堰き止めると云ふ譯には參らぬ樣に思はれます。誠に遺憾千萬ではありますが、當分其の流れに棹さすより外はありますまい。けれども私共は、何處までも、此の兇惡なる波濤に翻弄されて往く譯には參りません。何時かは一道の光明を認めて、此の大波をうまく乘り切り超然として我祖先以來稟け得た金剛不壞の大精神を、世界に發揮せねばなりません。

然らば如何にして、此の澎湃たる怒濤を、無事に乘り切ることが出來ましようか。それは取りも直さず、各自に鍊膽に務めて所謂『八風吹けども動せず天邊の月』と云ふ境界に安住するに如くものはありません。その眞に徹底せる自覺と自信とだにあらば、如何なる巨濤をも、乘り切るに左程の困難はあるまいと思はれます。

此の要求に應ぜんとの微衷に成つたのが此の鍊膽錄であります。多少讀者諸彦よりの希望もあり、今度小冊子として同好者に頒つことに決しました。既に御承知の通り、小說などの樣に一度讀んだばかりでは別段の面白味もありませんが、幾度か繰返して讀む內には、必ず何とも謂へぬ妙味が出るものです。成るべく多くの人に、一度よりも二度、三度よりも五度と云ふ風に、繰返し讀み返して、古聖賢人君子偉人傑士の勝躅を探つて戴いたならば、筆者に取りて此上もなき仕合せであります。擱筆に臨んで、一言謝辭を呈します。

各時計卸商 創立明治二十八年
貴金屬製作卸所 豐國火災保險會社第一代理店
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 （電話一〇一五） 振替京城七八一二番

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
京城南大門通一丁目 株式會社 朝鮮殖產銀行
頭取 三島太郎
電話長六〇一四番 營業 振替貯金口座四〇九番 道金庫振替貯金口座特一三番
支店 江景、全州、淸州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江景、春川、鐵原、榮山浦、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、筏橋浦、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、咸興、元山、城津、北靑、淸津、鏡城、羅南、會寧
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

古本と古樂器買入
京城本町 電話二五二七 ウツボヤ書店

▲セメント著荷
京城古市町 苫米地商店
電話九四一番 振替京城五三〇八番

朝鮮彙報 大正八年八月號
◇定價廿五錢郵稅一錢五厘
口繪 ▲金剛山（內金剛明鏡臺、外金剛飛鳳瀑）▲京城郵便局窓口に於ける郵便貯金事務の現況▲京城郵便局小包郵便切手賣捌の狀況▲京城郵便局に於ける南浦鎭南浦支那會社の運炭狀況 南港岸壁繫船之景
◯圖表 朝鮮の麥產
◇總督諭告
◇調査及研究 ○騷擾の財政及經濟上に及ぼした影響○大正八年上半期朝鮮貿易概況（度支部關稅課）○麥作豫想○市場調○書堂狀況○種牡牛種付數○朝鮮に於ける耕作組合の沿革及事業の概況（高塚貞雄）
◇朝鮮の機業…部澤正章
◇南洋視察談 松井房次郎
地方事情 ○鏡北道一鰯寄釣漁撈試驗の成績（成
◇支那絹布業の現狀及其の將來……室田武隣
◇圖畫の性質と其の價値 岡田秀
雜錄 ○遞信事業概況（大正八年六月分）○外國電報地方別發着狀況○遞信業務傳習生入學及卒業○神戶對鮮貨物荷動狀況○販賣鮮魚運送狀況大正八年度古蹟調查○種痘成績○死亡者の原因○ペスト流行○牛疫の豫防及發疹チフス流行○六月中司法官試驗○休暇中總督府職員
統計 ○六月中朝鮮貿易○家畜及家畜數○裁判所及檢事局取扱事件數○出入船舶及旅客○法令及通牒○判決例
廣告料一頁七圓…朝鮮內地各書店

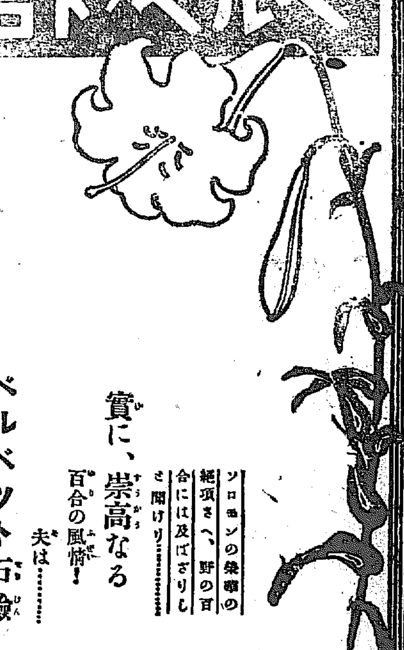
急告

春來職工賃金に就ては之迄數回の增給を實行し來り候處這回復々五割の增給を申出られ目下交涉中の折柄過半缺勤の爲め作業意の如くならず此際各御得意に對し自然納期の遲延を來し候段は幾重にも申譯無之次第に候若し萬一交涉纏まらざる場合は一時休業の止むなき事情に立ち至り候哉も難計其場合吾等協力可及的に補給の道を講じ候へ共豫め事情御諒察被成下度茲に急告仕り候也

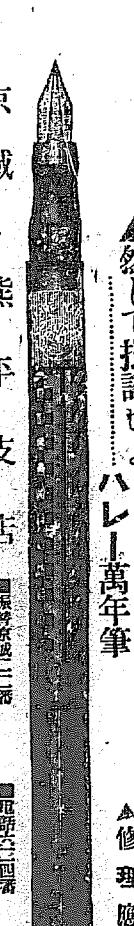
（イロハ順）
播本印刷所
朝鮮印刷株式會社
大和商會印刷所
京城印刷所活版部

笹山章著
ウツボヤ書店發行
新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
ポケツト形二百頁
定價五十錢（送料貳錢）
發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

朝鮮軍司令部 第二十師團 御指定品
マルソイド便利瓦
舊藤原商店
內外興業株式會社京城出張所
京城 黃金町二丁目建築材料部 長谷川町一壹六自動車部

ベルベツド石鹼

ソロモンの榮華の絕頂さへ、野の百合には及ばざりしと聞けり……
實に、崇高なる百合の風情！
夫は……
ベルベツト石鹼
愛用者の楚々たる容姿にも譬へんか！
V. 9

年若き人々よ 實業の新知識を求めよ是れ立身出世の近路也
一年卒業 實業講習錄
會員大募集
必讀よせ 銀行員 會社員 商店員 工場員 小中學卒業生 婦人の在職
總裁 大隈侯
副總裁 澁澤男
講習科目 經濟學 商業通論 商品學 商業簿記 化學工業 銀行簿記 工業簿記 商業英語 商業作文 商業數學 商業地理 商業實務 商店實習 工業用字 珠算 新聞記事 科外講話 處世法
大懸賞
注意 懸賞問題は誰方にも容易に出來得る極めて通俗的のもの也
壹等一人に付參拾圓 貳等一人に付拾五圓 參等同五圓 四等同壹圓
會費 每月一ケ月七十錢 三ケ月二圓 六ケ月三圓八十錢 一ケ年七圓卅錢
見本 無代進呈
帝國實業講習會


▲先づ使用せよ ▲然して批評せよ
ハレー萬年筆
▲二圓以上七圓迄 ▲修理應依賴
京城熊平支店
振替京城二三番 電話六二四番 電話二一〇五番

一D型プリストマン式發…
右謹賀ス詳細ハ八月二十日官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

京日案內 普通一回前金七十錢 番外一回前金
▲申込後中途掲載中止は料金不返 ▲六回以上の申込は特に割引 ▲照會は返信料附に非ざれば回答せず
●古本熱心高價買入 ●是非御試買を乞ふ ●電話三一九五番 ▲本町二丁目
▲賣地 漢江一目に見ゆる別莊地四千坪瓦朝鮮建十三間住宅付 希望者は龍山元町三丁目
寫眞見習生募集 滿洲長春 藤阪寫眞館
看護婦及看護婦見習 經歷の如何に依り給料四十圓迄 明治町二丁目
寒地ニ養成セル サフラン種球 詳細紹介被下度候 元山府外臥牛里
恩給立替 地方は規定書送呈 金は即日御渡 京城若草町郵便ポスト前 西村商會
內地人 小使入用 本人來談あれ 京城市內旭町二丁目 大日本麥酒會社京城出張所
內鮮人向 玩具卸商 京城本町二丁目 ウラシマ 振替京城六六六番
店員入用 保證人を要す 十八歲以上廿四歲迄 長谷川町 砂糖麥粉商 小島 電話四九六
丁稚入用 保證人を要す 時計卸商 京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇一五
乳母一名入用（姓名在社）
貸金取立 賣掛代金其他各種集金 多少ニ不拘御下命被下度 電話二一二〇 南山町一ノ二八 信用收金所

（右端欄外 断片）
しかして支那人も西洋人も…の壯觀…光輝や煙花…ならぬ流星は廣い宇宙に何の位ある…各國の專門
山詩に取つて居る、或は諸眼の…したもの丈けの數で肉眼に見ねづて來る。
…はそれを神として祭つて…がまだ今でも未開…見ねるが時に赤く光る事もある。
…全く同じものが十三年…をなした流星が天の星と違つてこれは日の出前と日…一方から驟雨のやうに降るので沒後又は二時間づゝの短い間だけしか見られぬ…其時刻の儘…
…氣のやうな氣體で包まれて居る…空は説明されて居るので
…十三圓八十錢…二十石出廻り▲大豆は京畿物十八圓二十錢小口商內。（十八特電）日釜山

三國勞働代表

本年十月米國に開催の國際勞働會議に對し佛國は既に政府代表を任命し英國及び白耳義代表者も內定せり、その顔觸左のごとし(共節著電＝東京電報)

▲佛國● ジュスタン・ゴタール(文相)アルフォンリ・テーン(勞働次官)婦人顧問レトリユー(夫人工場監督官)

▲英國● バーンス(無任所)サー・エス・ホーン(勞働相)勞働者代表者ヘンダーソン(勞働黨首領)

▲白耳義● ヴァンダーヴェルト(法相)モハイド(リエージュ大學教授)

羅馬尼政府回答

十三日の聯合國最高會議は終日在匈牙利聯合國特派員の發送に係るブダペスト政局に關する報告の審議の爲に費されたり一方講和會議議長クレマンソー氏の覺書に對する羅馬尼の回答は巴里に到著せるが講和會議に關係ある在巴里羅馬尼人士の語る所によれば右回答は極めて穩健なるものにて羅馬尼政府は特に彼のヨセフ大公のクーデターは羅馬尼の後援の下に行はれたりとの流說を否認せり又匈牙利に於て羅馬尼官憲の行ひたる徵發は何れも極めて穩當なる手段に過ぎず而して本件に關しては在ブダペスト聯合國代表者との間に完全なる了解を見るべきは確實なり(巴里電報)

支那委員言明

支那講和委員は新聞紙に傳ふる內田外相の聲明を不滿とし還附に就き正確なる時日を示し且つ保障を與へらる、迄山東問題に關する奮闘を繼續すべしと云へり(巴里電報)

獨露通商復活問題

ストックホルム來電によれば在伯林スエーデン通信員は獨逸と露國過激派との外交通商關係の復活に關する交渉が暴露せり右問題に關しては獨逸政府は商工業界の代表者と共に愼重審議を遂げたる結果過激派の宣傳を恐る、社會黨大臣の反對に對して藏相エルツベルゲル氏の意見勝利を博し結局ホルマン教授を代理大使として莫斯科に特派し追つて少壯外交官中より正式大使の責任を見る筈なるが一方レーハンは幾多の讓步をなせるが就中獨逸に於ける過激派宣傳の頭目と目されたるヨッフェの伯林滯在を提唱せりこれに因り是れを見るに前露國陸軍大臣グチユコフ氏が伯林滯在中兩國の公式外交關係復活を沮止せんとする運動は不成功に終りたるものなるべし(巴里電報)

獨戰後改造案

獨逸藏相エルツベルゲン氏は國民議會に於て獨逸の戰後改造の要案に就き商船隊の新設及び海外在留の獨逸人に對し政府用務人を爲すべき旨を指摘したり(倫敦電報)

羅軍ブ市撤退

羅馬尼軍は聯合國の抗議にもとづきブダペストを撤退しつゝあり(倫敦電報)

食糧問題危機

米國食糧調査委員は米國にして食糧買入の爲め信用取引を許さずば歐洲は將に危機に瀕せんとする旨を在巴里講和委員に報告せんとし居れり蓋し正金の缺乏及び信用取引の不便に加ふるに勞働者の各種紛擾は食糧の供給を危險ならしめつゝありと各專門家は說き居れり尙彼等の言に依れば米國にして穀物貯藏者をして是れを放たしむることに成功せば歐洲に向け十八萬噸を輸入せしむることを得せしむべしと(倫敦電報)

過激派三千來襲

過激派軍三千烏里耶蘇臺に侵入しオムスク政府は是に對し一團の兵を同地に派し目下衝突目前にあり至急防禦軍派遣を望むと庫倫陣部護使より政府に急電ありたり(北京電報)

日貨排斥鎭靜

上海有吉總領事發在日上海の日貨排斥は平靜に歸せり追々商賈間に入りたれば排貨規約を破りて取引を爲す者多く新聞紙も商人の反對を怖れ平靜となれり(東京特電)

各地の虎疫

二十日終面双豐里農本田吉之助(四〇)疑似コレラ患者發生死亡せり[illegible]の結果陰性と決定の[illegible]義州中の島造船所に支那人疑似[illegible]以て虎疫豫防の爲傳染病豫防令第十七條により當分の間左の區[illegible]

內地

[illegible]松市に朝鮮人一名疑似 義州郡游城館對岸長甸河口に八[illegible]統は十四日山口[illegible]月十二日疑似虎疫支那人二發生[illegible]十五日黃島[illegible]

蒙古出兵費可決

十六日國務會議は邊防軍蒙古出兵經費十三萬五千元を可決せり(北京電報)

寬城子事件交涉開始近し

寬城子事件に對する交涉地は最近長春と確定し森田領事其局に當るべしと稱せられしも更に某方面より傳へらる、所に依れば該事件は中央の問題となさざる方針に決定したるものゝ如く其の理由は東三省當局の責任を有せるは張巡閱使なり又其の當時森田氏は吉林に在り村上氏は未だ赴任せず赤塚氏は關東廳外事部長並に奉天總領事として實地檢分に赴き其眞相を捉へ得たる者なれば奉天にて交涉を開始する事に決定せるもの、如し夫れかあらぬか去る十六日本省より重要なる訓電奉天領事館に到著せる由なれば赤塚總領事も近々歸奉該訓令に對し本省と打合せの上活動を開始すべき模樣なりと、而して未だ其の內容に就きては發表の時機に非ざれども茲數日間には具體的に確定し正式の交涉を開始せらるべき模樣なり(奉天特電)

對獨條約文到著 樞府批准は九月上旬頃か

對獨講和條約文護送の任を帶びて巴里を出發したる講和大使隨員海軍省參事官山川端夫博士は郵船伏見丸故障のためロシヤ號に便乘し歸朝の途に就きたるが十八日橫濱港外に到著直ちに上陸外務省に出頭し正文授受を終り同省にては徹夜飜譯せる既著の條文と對照の上樞密院へ諮詢に回附し同院にては兩三回特別委員會を開き講和大使西園寺侯その他の說明を聽取し詳細議了の上九月上旬 天皇陛下の臨御を仰ぎ全部決定し批准を得るに至るべし(東京電報)

臺灣關東官制改公布

臺灣總督府及び關東都督府官制改正は十八日勅令を以て公布即日施行せらる(東京特電)

新官制は二十日發表

總督府新官制は實施の準備略終りたるを以て二十日發表せらるべしと(東京特電)

緊急地方官會議

緊急地方官會議は十八日午前十時より內務省會議室に開會各府縣知事は國際勞働會議出席勞働代表選出問題及び物價調節の件食糧問題等に就き協議し午後も引續き開催せり(東京特電)

森村男良好

森村男の病氣は稍良好なり(東京電報)

宇佐美長官出發

宇佐美內務省長官は十八日午後四時發赴任の途に就けり(東京電報)

芬蘭の危機 財政窮乏

政界動搖

大統領選擧後の芬蘭國內は概して穩靜なるも政爭に躓くに財政の窮乏を以てし國家としての基礎未だ充分確立せざるが大統領の選任され前閣員全部は辭表を提出せるに大統領は之を慰撫し今秋の議會開會期まで待たれたしと勸告して其辭表を留保せり而して一方マンネルハイム將軍に對し參謀總長兼總司令官として留任せんことを勸告し之と提携して社會黨左派に對抗せんと畫策せしがマンネルハイム將軍は之を承諾せず爲に新大統領は稍窮地に陷れり蓋しマンネルハイム將軍は大統領選擧に破れたる人なれば政敵の利用に甘んずるを肯ぜざりしなり

財政逼迫

芬蘭の財政上唯一の收入は木材の輸出なるが最近に於ける木材の販路は頗る狹く即ち英國は從前芬蘭より輸入せる木材の輸入を中止し目下北露ムルマン地方產出のものを購入し佛伊兩國も亦芬蘭產出の木材を顧みずして瑞典より購入し唯一の販路として期待せる露都は未だ陷落せざる爲め全く需要なく從つて芬蘭の木材倉庫は徒らに在庫品を以て充滿し各方面共に輸出の途全然杜絕の有樣なり又一面金貨は戰時中露國に持去られ外債の募集も意の如くならず芬貨の下落も底止する所を知らず刻下米國に於て國債の募集中なるが若し該計畫にして失敗に終らんか芬蘭の財政は極度に逼迫を惹起し政治上の危機の因を爲し或は政府の危殆を喚致するやも知れずと

對支新借款團 滿蒙除外新交涉

政府間の交涉

對支借款團に對する帝國の方針が滿蒙除外に確定せる結果我銀行團代表者として巴里に滯在せる巽、小田切兩氏と英米佛三國銀行家との間に從來行ひ來れる一切の交涉は一先づ打切りとし今後は滿蒙除外を前提として新交涉を開くべき筈なるが右銀行團代表者間の交涉に先だち十四日附を以て發せられし帝國政府の訓電に接受と共に珍田駐英大使は英國政府に出淵駐米代理大使は米國政府に對し夫々帝國の意嚮を傳へ多少の諒解を得たるも更に巽、小田切兩代表より四國銀行團の會議に新要求提出の運びとなる筈なり

英米態度如何

日本の新要求に對する英米の態度如何は今輕々しく豫想するを得ざるも巴里銀行團會議開催の劈頭我代表者が滿蒙除外論を提議せる當時の態度より推測せば幸ひ英米側が日本の輿論と日本に對する友交關係に鑑み結局日本の要求を容るゝに至るべしとするも帝國の要求通り達成迄には相當の曲折あるべしと推せらる尙日本は最初より終始一貫滿蒙除外論を支持し來れるかの如く傳ふる向あるも外務省側は今回の新要求の結果對支借款團組織に關する日本側新意見書の細目起草に付外務、農商務兩省其他銀行團關係者等の間に於て不日會議を開始する筈なりと聞く(東京電報)

鮮滿片々

鮮米商旱魃買

全羅北道群山裡里金堤各地の米價は旱魃相場にて前途益々高模樣である爲め强氣一方の鮮人筋は各地で盛んに買附け去る十二日の如き群山市場のみで約一萬叺も買進んだと云ふ(群山)

地主の希望

釜山鎭に於ける朝鮮紡織會社及び片倉製絲工場の何れたるを問はず買收に應じた地主は何れも其土地の賠償後一年內に工事着手の保證を希望して居る(釜山)

今期移出牛數

去る十七日元山發敦賀に向つた平安丸は元山港で牛約五十餘頭を積載した同港今期の生牛移出は前期に比し城津から移出されるもの多くなつたので內半數位に減じる見込である(元山)

米商組合進捗

鎭南浦米穀商組合は組合加入者略纏り近く總會を開き組合長以下役員選擧を行ふ筈であるが其の事務所に充てられた商業會議所前の元陳列場は整理等多少の時日を要するので取引開始は來る九月初旬であらう(鎭南浦)

靈光松汀間道路

全南靈光松汀里靈光間の道路は全部改修されたが目下路面の手直し工事を要するので賦役で起工中である爲十數日中には全く竣工して車馬の通行は自由となるであらう(木浦)

官帖稍好調

吉林問題に關し官帖の前途を悲觀されしが其道の握手と共に一帖ゟ幾分の强氣を示して來た昨今三十帖より二帖も拔いて二十八帖に騰貴し氣配稍良好である(吉林)

三菱の探險班

三菱礦業探險隊は兼二浦を出發して以來其目的とする朝鮮に於ける優良礦物及び兼二浦製鐵所で必要とする鐵ドルマイト等の發見に努め早くも相當の實績を擧げて居る該探險隊は專門技術家數名を一隊とした者三班にて組織し目下中央山脈方面の探險中であるが何れも十分の準備を整へ常に兼二浦本部と連絡を執り黃海平南北、江原咸南北の各道に亘り仔細に調査し一切の鑛物に及ぶ筈である(兼二浦)

群山の公會堂

群山公會堂設立計畫に就ては其後寄附金募集も著々進捗し既に二萬圓以上に達したから此程群山商業會議所に創立委員會を開き敷地の決定及今後の寄附金募集方法に付凝議したり(群山)

大田最近戶口

七月中大田郡內に於ける戶口數を聞くに內地人は男三千四百零四人女三千零九十八人合計六千五百零二人である(大田)

木浦學校組合會

木浦學校組合會では十七日午後八時より府廳樓上で開いたが主な議案は組合基本財產處分の件で寄附金一萬圓及び利子を財源とし學校增築費に充てんとするものであるが右一萬圓の中の一部は殖銀株を購入の結果時價一萬數千圓になつてゐる(木浦)

平南旱害狀況

平南道より總督府に達せる旱魃被害の狀況報告に依れば同道德川郡に於ける被害面積は八千二十町步に達し此の被害見積額三十一萬二千六百八十八圓に達すべきが今被害面積並に被害見積り額を各被害作物別に示せば左の如し

被害作物	被害面積	被害見積金高
大麥	一〇町	二〇〇〇圓
小麥	六〇〇	[illegible]
大豆	一、九〇〇	六〇、〇〇〇
小豆	三、三〇〇	九〇、〇〇〇
蜀黍	五〇〇	三六、〇〇〇
玉蜀黍	二、五〇〇	八八、五六〇

日貨排斥と山東問題

芳澤參事官の談

久しく支那各地を觀察して十八日夜京城通過東上せる外務省芳澤參事官の談に曰く 支那各地殊に山東に於る排日貨は未だ下火なりと云ふを得ざるべく或意味に於て現時支那の政治の中心は學生にありと云ふも否ざるにあらざるも余等支那人の二三者に面接したる事もありたるが彼等は必ずしも日貨を排斥せんとするに非ず要するに軍閥に反對し聯時支那の政治的改革を期するものなるが如く氣勢却々猛烈にして到底此際彼等に穩健なる所說を望み難きものあり山東還附問題は去二日內田外務大臣の聲明せる通りなるが還附に就ては其手續きを支那と協議せざるべからず夫れには先以て支那に於て講和條約調印の要あるなるべし青島にては青島實業協會の會議に臨席し排日貨問題及び還附問題に就き質議に應じて余の所見を開陳せり會議に列せる人々の意見を綜合するも青島居留民の大多數は青島に

專管居留地

なる區域を要望せるもの、如く余の歸東に先立て既に同地運動起り貨が東上せる筈なり青島は大正三年に曾遊の地なるが目下日本人は約二萬人の居住者あり曾て日本人町を新設する有樣なり其他學校病院等萬般の施設面目一新の感あり北京に至りたるは敢て視察と云ふにあらざるも曾て永住せる余にとりては舊知人多く各國公使支那大官連にも面語し親しく所見の交換も試み殆ど身の羈旅にあるを知らざりき

兩鐵道實測

森林鐵道と兩江拓林 朝鮮森林鐵道會社にては未だ會社成立に至らざるも豫定線路の實測に就き設立許可の指令を受けたる際に設立の運動を開始し森林狀態調査の必要あるを以て園部日出雄氏監督の下に二十六日頃京城出發永興より成興に出で西湖津方面より實測を開始すべく又同じく設立許可の指令を受けたる中江拓林會社にても今回古茂山茂山間の實測を完了すべく目下測量班組織中なる岡本文介氏引率の下に本年末方面に向け出發すべしと

京畿金融組合

本年五ケ所新設

京畿道管內本年中設立さるべき金融組合は竹山、東豆川、永平、漣川、の五箇所なるが去る十三日附を以て安城郡に於ける設立の認可ありたり竹山は一面の拂込を了し設立總會を開催して設立登記をなす筈

京畿金融狀況

京畿道管內には現在村落金融組合二十九都市金融組合五を有せるが今最近の狀況を聞くに組合員總計一萬三千五百六十人出資金總計卅二萬三千八百六十四圓之を一組合平均に見る時は四千五百二十五圓廿九錢四厘となり貸付金總計九十三萬七千九百四十一圓五十六錢にして之を一組合平均に見る時は二萬七千五百六十一圓四錢五厘となり預金三萬二千四百六十二圓十七錢五厘にして之を一組合平均に見る時は九百五十四圓七十六錢九厘となれり而して利益金總計二萬四千二十七圓四十一錢にして之を一組合平均に見る時は七百六[illegible]八錢八厘其內譯を示せば左の如し

▲資產の部 拂込未濟出資金廿一萬二百七十五圓四十五錢、貸付金九十三萬七千九百四十一圓五十六錢、共同購入金四萬廿四圓、土地建物其他所有物七萬百三十圓二十三錢、勸產代理貸付二十三萬六百四十五圓五十四錢九厘、雜勘定一萬七千四百六十六圓六十九錢、預け金十三萬五千八百九十三圓六十四錢、現金三萬二千四百六十二圓十七錢五厘、損失金三萬四千四百三十一圓三十五錢合計百六十六萬八千七百七十圓六十二錢四厘

▲負債の部 出資金三十二萬三千八百六十四圓、政府下附金二十五萬八千六百圓、準備金六萬九千百三十五圓二十二錢五厘、特別準備金六千八百三十圓、借入金四十八萬三千八百九十四圓四十五錢五厘、預り金二十萬九千二百十七圓六錢、鮮銀代理八百六十四圓四十六錢五厘、雜勘定二十五萬二千三百四十六圓九錢、利益金二萬四千二十七圓四十一錢合計百六十六萬八千七百七十圓六十二錢四厘

期米新高値

十八日後場の仁川期米は依然旱魃續きにて米作愈々悲觀さる、より大阪相場の軟調を入れしに拘らず鮮人筋の買氣旺盛を極め期先四十四圓五十錢高値七十[illegible]と新高値を現はしたるが尙先高を見るに非ずやと云ふ

製紙市價漸騰

紙界は休戰當時市場俄に沈滯し各大手筋は何れも手持品の整理に努めたれば投物一時に輻輳し加之海外注文品も引續き著荷したるを以て聊か堆積過剩の姿を呈し本年四月頃迄には弱氣配を帶び昨年十月頃の好況時代に比すれば市價は三割內外の崩落を示したるも一部には尙先行

幾分の下落

を見越し形勢見送りの方針を取るもの少からざりしが五六月の交に到りても豫期の如くには低落せず且つ輸入物の戰時中の注文に係るものは大體本年春季に著荷しあり新規注文は概ね高價の爲め何れも差控へたる向き多きを以て過去半歲間買控へ居たるものも前途の見切を附け六月頃より漸く買附に著手したれば昨今は漸次活氣を加へ市價も去る四月前後の崩落時代よりは約一割內外引き返し各會社の滯貨も著しく減少したり(東京)

各地最高溫度

十八日午後二時測定

淸津	七十二度三分
群山	八十六度晴天微風あり
木浦	八十四度二分北の風晴
鳥致院	八十三度無風晴天
大邱	八十四度一分無風晴天
春川	九十二度三分
大連	八十八度
奉天	九十二度三分東の風晴
鎭南浦	八十七度八分大旱
釜山	八十二度四分南東の風
馬山	八十九度

檢疫委員任命

十三日付を以て左の如く檢疫委員を任命ありたり

京畿道警務部長鹽澤義夫以下二十三名▲忠淸南道太田警察署長野副鈴木兵作以下三名▲慶尚北道大邱警察署長白井義三郎以下六名▲江原道衛生事務囑託鹽田興吉外五名▲咸鏡南道警務部長大橋又三以下十五名▲全羅南道警務部長藤田耕一以下十名▲平安南道警務部警視齋藤鼎造外十三名

無線電信見學

新設の龍山無線電信所にては二十日午後五時より在鮮軍人等同家族の希望者の爲め廳內を見學せしめ石井少佐安田大尉の兩氏說明の勞を執るべしと

奧田少將挨拶

第四十旅團長陸軍少將奧田爲雄氏は着任挨拶の爲十八日午前十時總督府各部局長官各課長を訪問せり

北島博士入城

十八日入城せる北島醫學博士は朝鮮ホテルに一泊十九日朝南大門驛發奉天に向ひ奉天防疫本部に入り防疫に努力すべしと

芦田氏の講演

鐵道社交會講演部にては十九日午後三時半より同會々堂に於て日本宗敎的實傳の爲め來城中の京都同志社大學神學部長文學士芦田慶治氏を招聘し講演會を開催すべし同氏は北米ヴァンダビルト大學及びエール大學の二校を出でたる秀才にし神學の外哲學及び理學に造詣淺からず又講演には特に聽衆を魅する力を有し居れりと

人事

▲加藤原三氏(內務省防疫官) 十八日夜北島博士と共に來城十九日朝奉天へ
▲豐永農學博士 十八日夜歸城
▲芦田慶治氏(同志社大學神學部長)は十八日夕來城京城ホテルに投宿
▲秋田義彥氏(公州慈惠醫院長) 十八日入城浦尾へ
▲伊吹振氏(朝鮮製糸株式會社重役) 十八日入城巴城館へ
▲內務省防疫官一行 防疫官二十餘名の一行は十八日夜京城通過奉天に直行せり
▲松平直平子(東拓理事) 十八日夜釜山通過歸東
▲頭本元貞氏(前鹽業報局長) 同上

爲瞰錄

南方に割據して氣焰天下の風雲を睨つてゐた孫逸仙君も、こうご胃を脫いで四百餘州我許の跡を悲觀してか近く歐米に移轉する相な▲支那多數の國民が理想家の孫君をして遂に茲に出でしめたのは支那人はモウ理想の犧牲に飽き果てゐるからだらう▲彼等は理想の實現よりも差當り平和な生を樂みたいのである▲孫君理想とする米、佛の政治は一部少數理想家の策動によつて出來たのではない▲豫備敎育なしに一足飛びに四億人を理想の世界に引つ張つて行かうとする孫君の理想は矢つ張り理想に終つたのである▲イヤまだ其の理想の實現を理想として居るならば何處迄も理想家として先づ世界にも屈指の方だらう▲理想が利巧か勸忍强い孫君丈けに最少し歐米で實地學をやつたら好からう▲同じ理想にしてもレニンやトロッキーの樣な過激な理想的政治に入門して其お土產を持つて歸る事け御免を蒙りたいものだ

東京株式

十八日前場

同新	一三五、八〇	一三六、七〇
商船	一八三、九〇〇	一八三、六〇〇
同新	一三八、〇〇〇	一三八、六〇〇
鐘紡	二五八、九〇〇	[illegible]
同新	二四〇、〇〇〇	[illegible]

大阪株式

至急電報

安値	三七、三三
止め	三七、三二

下關期米特電

十八日前場天候回復突込買警戒

	當限	中限	先限
高値	[illegible]	三九、四〇	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

瀨戶外科皮膚科醫院
京城旭町一丁目(舊三丁目) 醫學士 瀨戶潔
(診察夜九時迄)(電二四九八番)

戰後の劇務を處理する第一步はパイン萬年筆の使用に始まる
優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり
發賣元 京城日報社代理部 振京城三〇〇番

橋本商事信託事務所
▲各種事業企劃及設計
▲財產管理事務
▲財產整理及清算事務
▲一般代理業務
▲不動產鑑定及調查事務
▲貴重品保護預り
右に關する附帶事務懇切に取扱可申候
土地家屋格安賣物あり御希望の方は御來談を乞ふ
京城本町四丁目百十二番地(賣商)電話一八二七番
主任 橋本茂雄
顧問 前京城地方法院判事辯護士 切山篤太郎

宮內省御用達
三ツ矢 平野水 サイダー ヲレンジ
帝國鑛泉株式會社

▲冬物開荷▼
目品 卸問屋 メリヤス、帽子製造、毛織物、及綿布類、加工品全般
釜山 分野老山商店
▲相場表は御申越次第進呈仕候

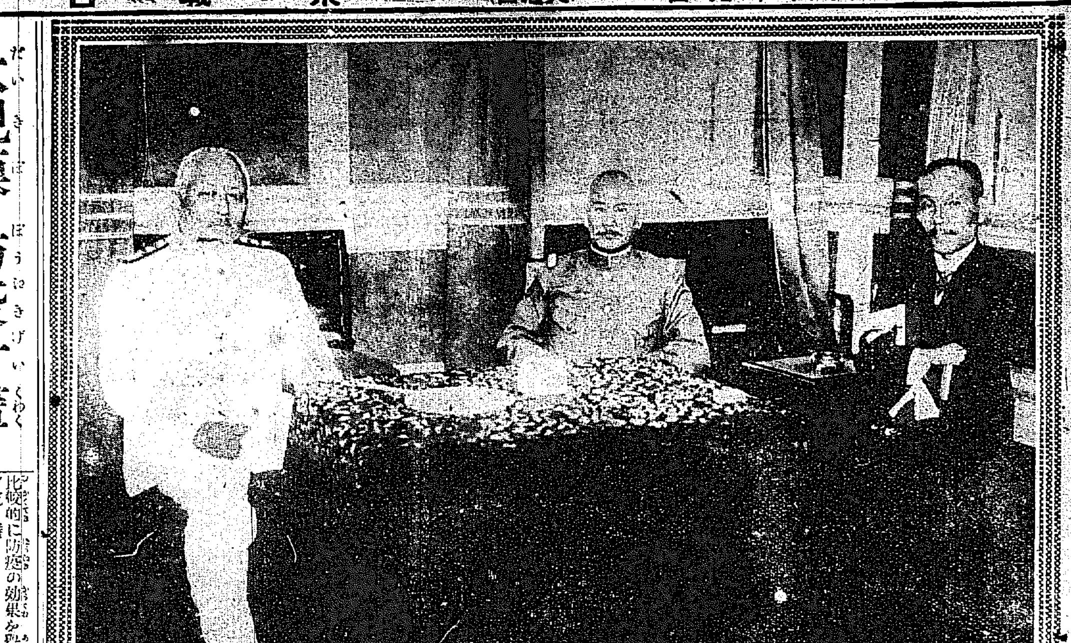
荊妻しゅう儀病氣の處療養相叶はず去る十六日正午死去仕候段謹告仕候
八月十六日 釜山 佐々木憲護
親戚總代 藤田藤太郎
友人總代 平山正
上田駿一郎

朝鮮のにせ物
京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり誤着せられざる樣御注意を乞ふ
全國の都市に支店あり
龍山漢江通 有田支店
釜山大廳町三丁目 支店
元山本町三丁目 支店
平壤 支店
仁川宮町三丁目 支店
大連岩代町 支店
グッドラ
京城黃金町三丁目電車通 有田ドラッグ 電話二八三番
にせ物あり
百圓進呈
りんびやう

購買入札
一、ボールト外八點
購買スル詳細ハ大正八年八月十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正八年八月十九日
朝鮮總督府

穀物、海產物、綿毛緞、布木、紙物、皮物、其他
內外貿易並に委託賣買
釜山府大倉町八ノ五
主一商會 電話三〇五番
主務 崔灝武 孫永詢

多管式汽罐ボイラー
馬力 大拾 經四尺五寸長十五尺 大正五年製造
使用一年以內の品
右安價販賣す御商談を乞ふ
京城南大門通五丁目
中村幸商店 電話二七一番



(右は水野新政務總監　中は長谷川前總督　左は齋藤新總督)

三ツの笑顔

總督府出張所の一室にて　總督事務引繼の日

嚴肅な空氣の中に　引繼は圓滿に了りぬ

櫻井本町の總督府出張所の會議室の窓が朝早くから開かれて窓かけが綺麗に絞られてゐるし滅多に無いことだ。七時と言ふに

神田秘書官 が詰めかける、八時には守屋新任秘書官が顔を出す。愈々長谷川元帥が部厚の書類を入れた風呂敷包みを自分で持つて大島副官を隨へ自働車から下りられる。正に十三日の午前九時半だ。と間も無く

齋藤新總督、水野新總監がまた自働車で登廳、背廣姿の宇佐美内務部長官フロックの大塚參事官、田村陸軍少將、芳賀總督府醫院長、東條憲兵大佐、河内山主計課長、國友警務課長、曾我事務官、大木戸囑託等また參集、挨拶が濟むと

會議室の扉 を開け放した中に副官秘書官一切を遠ざけて新舊總督政務總監三人だけ額を集めて文字通りの膝座鳩首凝議一時間と四十分に渉り嚴肅な雰圍氣が漂ふ、正午になつて初めて緊張した空氣緩んで平和な笑ひ顔が三つレンヅに映る總督總監の交迭に伴ふ事務の引繼ぎは斯くて終つた

長谷川前總督 は永く元帥府に在つて帷幄獻替の任に當らるゝであらう山縣前總監は練達の器を以て何れは樞要の機に參らるゝであらう齋藤總督は寛厚の德望を以て水野總監は敏腕の器識を以て倭城臺上新に政務を視られ半島の山河自らまた面目を更めるであらう斯して總督總監こそ代つたが國民の心は益々朝鮮に對して愛著が深くなつて行く國民の朝鮮に向つて突き進む心は益々深くなつて行く（東京支局發廿延着）

大規模の防疫計畫

虎疫は恐るべき病氣にあらず　北島醫學博士談

「同出張の用向きは内務省の命に依り奉天に防疫本部を開設する爲めで旅行日數は三週間の豫定であるが兎角吾人の出張は不祥の用件と伴なふ事が多く

此前朝鮮を 通過した時は冬季で支那に肺死病が猖獗した時であつた酷寒酷暑に何時もながら防疫の任務を帶びて朝鮮を通過するのも不思議である今夏のコレラも病源は矢張り印度地方を中心として發生し支那に輸入されたのである相當悪性のもので傳播力も盛んなやうだが當局でも如何程多額の防疫費を投じても速かに之を撲滅せんとの方針で

大々的規模 の周到なる防疫を立てゝるから前年日本鮮に猖獗を極めた程の惨事を繰返すまいと信ずる既患者は別として今後は鴨綠江を防禦線として國境内には絶體に浸入せしめない覺悟だから朝鮮に於ても官民協力して此上とも一層防疫に努力して貰い度いものである滿洲には傳研及び北里研究所より選拔せる醫員十七名數日前既に先發して居り今回吾人と行を共にする者も數名あり今回は内地よりも續々渡滿し總數醫員のみにて五十名位に達する筈だから從つて完全なる防疫設備も出來やうと思ふ防疫も從來は頗る消極的の方法で悪疫の蔓延流行を極むるに至り初めて之が

防止に全力 を注ぎ遂に捲く終蔓と鬪ふが如き傾向があつたが近時は勉めて積極的方針に基づき未だ流行の初期に於いて傳播系統を辿り根本的に撲滅し宛ら根を絶ち葉を枯らすやうな方法を執るやうになつたから今日程猖獗を極めなくなつた今夏我國内に於ける流行の狀態は

自發的の者 は皆無と云つても好く保菌者が國内に入つて適々發病したと云ふに止り此儘怠らず防疫に留意したら甚だしく蔓延する形勢は認められぬ支那人のやうに衞生思想が皆無では始末に終へない滿洲に雜居してゐる日本人こそ災難である元來虎疫は諸種の流行病中でも最も始末し易い病氣で比較的に防疫の効果を擧げ易い併し人は甚だしく

虎疫を恐れ る虎疫は左程恐るべき病氣ではない其の防疫として豫防注射をする飲食を愼む事の二つに制すれば豫防注射は少くとも二回以上成績が良く生物生水生食の攝取等は絶對に食せぬやうにすれば先づ虎疫に侵される心配はないと云ふ腐敗し易き物を遠ざけるは云ふ迄もないが注意すべきは

魚肉である 虎列拉菌は潮水に生棲し易いから忘れても生の魚肉は食してはならぬ飲食物は一切能く煮沸して後に口に入れるべきである獨一つ滿鮮の方に於て特に注意すべきは虎疫の媒介者たる蠅の撲滅を計るにある殊に滿鮮地方の蠅は内地の夫れと比し極めて鈍重であるから自然危險が多い要するに各人各自の自衞の道さへ講ずれば決して虎疫に冒されることは無い筈である」

警務局は本府に移轉すべし

朝鮮總督府官制改正は愈々廿日を以て發布せらるゝ事に決定せる趣なるが之と共に警務總監部は廢止せられ新に警務局の設置を見るべきは屢報の如くにして新設警務局は初め現在の警務總監部廳舍を以て充當せらるゝ筈なりしも斷ては事務取扱上不便少からざるを以て官制發布後三日以内に新舊兩者の事務引繼を行ひ總督府内に移轉する事にて既に總督府用度係に於て部屋の割當て決定せりと

安東虎疫と交通警戒

板東衞生課長談

新義州に於ける國境防疫に關し實地調査及び對岸安東側との交渉の爲め再び新義州に出張中なりし板東衞生課長は十七日歸府したり其談に曰くコレラは遂に新義州、義州及び龍岩浦に發生を見るに至れり即ち十三日を初發とし新義州に五名、義州に二名龍岩浦に一名都合八名尚此外に新義州に於て疑はしき患者二名ありて尚續發の傾向あり安東の病毒は

可なり濃厚 なるが如く日本側より支那側に對し再三交渉の結果通知し來りたる所に依るも十三日より十六日迄の四日間に患者四十五名内死亡十五名とあり以て其病勢を想像し得べし且つ衞生狀態は日本人街に接近し居れり又風說に依れば支那人街には毎日約二十名の死者ありと此のことなり安東日本人街にも既に九名の患者あり新義州の患者の系統は總じて安東より來れるものにして安東縣にて飲食し歸來罹病せるもの多し右の如くなるを以て新義州側に於ては鐵道の

通行及難に 依る安東の交通を斷ち取締居れり又此の交通の爲め京城より看護婦四名を派遣し尚警察官も從來の十八名の外更に應援として相當派遣する筈なり新義州府民も右の狀勢に刺戟せられ自發的に府内に二十二の衞生組合を組織し官憲と連絡し生石灰の購買配付清潔法及び豫防上の注意心喚起等に努め居れり

安東の虎疫　益猖獗　＝新患者續發

安東縣に於ける虎疫は益々猖獗を極め舊市街は日々數十名の新患者を出しつゝある模樣なるも其の詳細は知るに由なし安東警察署の見る處にては去る十六日正午迄には約八十名を下らざるべしと

新市街の患者 新市街［以下判読不能］

方面に於ては病毒八方に飛散せしもの、如きも就中鴨綠江沿岸にある江岸通りに新患者多きは特に注目に値すべし去る十六日正午より十七日朝までの新患者は三番通り六丁目二番地支那人田清和（三七）二番通り六丁目朱文鮮（三五）死亡四番通り五丁目二番地徐寶山（二九）は支那官憲に引渡し住所不明于字呂（五）は同上姓名不詳推定年齡四十一歲位の男一名死亡屍體は支那官憲に引渡し、舊市街永安街朝鮮人高千俊（四〇）は十六日午後七時死亡市場通り五丁目三番地哈福山（三七）も支那官憲に引き渡し江岸通り三丁目稅關裏手玉振山（三）埠頭貯木所附近に於て支那人男の屍體一個發見共に直ちに支那官憲に引渡し十七日朝、江岸通り一丁目日陞公司前の堤防上に推定年齡卅五歲位の男子の屍體一個發見是又支那官憲に引渡されたり

日本人の患者 更に十六日午後江岸通り三丁目井上國太郎方同居清本みち（年齡不詳）は十六日午後擬似患者として檢索中なるが眞正コレラの見込確實なりと云ふ

江水に注目 安東警察署當事者の推定する處によれば舊市街、新市街を通じて鴨綠江沿岸に瀕する地方に比較的發病者の多きに鑑み或は上流に虎疫流行地あるにあらずやと思はるゝ筋あり過日上流某地に於て支那水上警察署長コレラに罹り同時に二三名の發病者あり舟にて他に所在を晦ましたりとの報道ありし位なれば、是等の病毒或は河水に混じて流下し來るにあらざるか舟夫筏夫連は河水を其の儘飲料用飲料に供する習慣なれば河水より傳染するもの多しと見るが當れりと想像され居れり

孫一派の豫審　廿日頃から開始

孫秉熙等百四十餘名に對する國事犯事件の豫審は高等法院内拘置監の落成と共に來る二十日頃より開始する筈なりと

牛乳が上る　廿一日から

京城の牛乳組合では來る二十一日から牛乳を一合十二錢に値上する由

麥酒が恐しく足らぬ

一面に好景氣の反映　朝鮮へは昨年の二三倍も移入されたが未だ〱足らぬ

今年の夏位 ビールの拂底を來したことはない。例へばビール引換券を買つても容易に引換へて貰れない。それでは貯つた方も貰つた方もあまり可い氣持はしない。また此のビールの拂底に乘じて料理屋や小賣商などの中には隨分醜い暴利を貪つて居るものもある。現に北部の某料理屋には或料亭で

ビール一本 を一圓の値段にしてあつたなど云ふ不平記事が出て居るのに見ても如何にビールが拂底して居るかゞ判る今其拂底の理由に就きサッポロ、アサヒ、エビス、キリン、サクラ各ビールの出張販賣店たる大日本麥酒會社出張所、明治屋支店、鈴木商店出張所の各代表者の意見を綜合すれば次のやうなことになる。第一に

拂底の原因 は本年度に入つて内地を初め新領土に於けるビールの需要が激增したことである。その需要の激增した原因は世間一般に好景氣であること、一般の嗜好がビールに傾いたこと、日本酒が馬鹿々々しく高くなつたこと等である。それで一般にビールを需要する階級に飲用者が殖えたこと等である。そこで一番に大不足を感じたのは内地であつて次に各新領土、殊に植民先と云ふ順になる。然らば

昨年の夏 に比べてどれ位需要が殖えたかと云へば各製造會社からは昨年の二三倍以上數倍の移出をして居るに係はらず先々月あたりから大不足を告げ各社共最早此上の供給方法はない、能力がないと云つて可惜此の好機に指を啣へて居る仕末である。朝鮮で何故今年に入つてメキ〱と需要額が殖えたかと云ふに米や繭の好景氣で

田舍方面の 賣行きが好くなつたからで殊によく且つ朝鮮人の嗜好に適して居ると見ても差支ない。それから料亭では現在のところ日本酒の一本で三十錢位であるが、ビール一本五十錢から六十錢位まで、あらから結局勘定から見てもビールの方が得である。また日本酒は飲み過ごすと二日醉をしたりするがビールにはそれがない。從つて勞働をする人には衞生から云つても

時間の觀念 から云つてもビールの方が優つて居る。斯うした種々の原因からビールの需要が激增し各製造會社をして狼狽せしめて居るのであるが一言にして掩へば即ち世間の好景氣の反映と見るべきであらう

避暑地投票　第二十七回發表

仁川	一八〇四票
金剛山	六三七五票
水安堡	六三二六票
東萊	四八六八票
馬山	三八二九票
元山	三五〇三票
溫陽	三四三九票
海雲臺	三二七〇票
釋王寺	二六〇一票
儒城	二三〇二票
正方山	二一〇〇票
俗離山	六百六十票
水原	六百三十九
扶餘	三百六十八
冠嶽山	二百八十八
統營	二百六十五
寧邊	二百四十六
木浦	一百〇五

（百票以下）益山郡五山里公園、公州、劍拂浪、逍遙山、九味浦、夢金浦、光州、平壤、松島、南原、蒲津、金剛、密陽、慶北周王山、清道、藥水溫泉、摩天嶺、平康、古群山、鷄龍山、井邑七寶山、西歸浦、文化朱［判読不能］

運動園

早大軍捷つ

對京城記者團野球仕合

早大庭球部對京城記者團の野球試合は十八日午後五時より京中運動場に於いて擧行した此日記者團は午過ぎから京中運動場に出掛けて設備萬端に奔走した午後三時京城倶樂部の厚意で設備が終り練習に入つた觀衆は早大軍の腕前如何と云ふ興味で三時前から鉾々と詰めかけた午後四時早大軍は山田協會書記大島本社長の案内で入場練習をやつた投手上田の投球は素晴らしいスピードを見せた五時愈々試合に入つた記者團先攻球審高杉早大教授壘審久保田氏、高野協會長のプレーで試合開始第一球が投ぜられ始球式が濟むと全野を睨んだ第一回記者團無得點なのに乘じ早大軍よく打ち一點記者團寺田は第一打者として三點を得たので觀衆は大喜び第二回は兩軍凡打凡死して無得點第三回記者團西村、野崎の安打で生還し一點を得たのみ早大軍はよく外野を襲ひエラーに乘じて更に三點を得た第四回記者團出生還し一點を得たが早大軍は第五回早大軍の投手上田が郡に代つたが甲斐もなく記者團攻撃振ひ一擧三點を得た愈々第六回記者團岩瀬痛快な二壘打をやつて遂に生還し一點を得たが其後も緊張すべき秋が來た第七回記者團全く無得點で出て市野、野波三上郡と痛快な安打で續々生還し一擧五點を得られた記者團は十一對六Aで大敗したフレー〱を相互に三唱して終つたのは六時卅分であつた松林一帶の見物が非常に多かつた試合もエラーは澤山あつたものゝ緊張した大試合であつた

守備	早大軍	記者團
投	上田	北村
捕	野波	西村
遊	三上	中島
一	郡	石森
二	樹下	岩瀬
三	河合	寺田
右	石川	野崎
中	市野	菊田
左	狩野	小坂

みだれ咲き

第百廿二回　島田碧波作　森田久畫

日本三景の一なる安藝の嚴島では、紅葉谷の高等旅館岩惣の本店に二三日前より宿泊して居る青年紳士の許へ、午後の遊覽船で來訪した一人の美人があつたが、此の紳士こそ山陽線の列車中から姿を掻き消した箱師の井口健吉で、訪れた美人は改めて記すまでも無く門司の川卯旅館で山中子爵の夫人艶子と意氣投合したお蓮であつた。

女中は此の美人を姫樣お蓮なぞと云ふ肩書附きの悪婦とは知らず、下へも置かぬ待遇しをして井口の部屋へ通した。

『お・今』著いたのか』

女中に連れられて部屋へ入つて來た妖婦を見上げ、井口は打ち解けた言葉を掛た。

『ね、お兄いさんが早く行くやうにと仰しやいましたから昨日發つて參りました』

『さうか……』

大きく首背いた井口は、態と女中に聽かさうとするのか、眞面目臭つてお蓮に向ひ。

『御邸に變りは無いか』

『ね、別段變りは御座いませんが、中本公爵が御病氣と云ふことでした』

『ナニ中本公爵が病氣、さうすると僕は長く滯在しては居られないね』

互に口から出任せのことを云つて、女中に華族の新夫婦のやうに信じさせて居る二人は、心の中で長い舌を出して居る。

『ごうぞ御悠くり……』

女中は二人の談話を信じたものと見ね、今までよりも丁寧の言葉使をして此の部屋を出て行つてしまつた。

『おい馬鹿に遲かつたな、あれんばかりの仕事で斯んなに手間が掛つては商賣にならんぜ』

井口は情婦お蓮の來訪が遲いのを不快に思つて居るやうであつた。

『遲くなるには理由があるんですよ』

お蓮は井口の怒つて居るのを知つて反つて高飛車に出た。

『それは理由があるから遲くなつたんだらうが、誰か宜い［判読不能］でもあるのか』

女中が居なくなつてから鐵火な言葉に變つた井口は、お蓮の前へ大胡座を掻いた。

『ね、面白いことがあるんですわ』と、云つてニッコリ笑ふと『實は此の間の學生ね、彼奴の繼母が宿六と一緒に朝鮮から戻つて來たのよ』

斯く聽いた井口は、俄に坐り直して。

『さうすると山中子爵は朝鮮でお陀佛になつたのではないのだな』

『さうなんですよ、鼻毛を讀まれて居る若い奧さんに連れられて内地へ戻つたのですよ』

『夫ではあの學生は都合好く下關で逢つたらう』

井口は同じ罪な眞似をしても幾分夫が薄くなつたやうな感がした。

『處があの學生は、下關で物好きな婦人に救はれて朝鮮へ行つたのですが、山中夫婦と慾に眼が眩んで居る子爵夫人の親は是れから別府溫泉へ行つて日名子と云ふ旅館へ逗留することになつて居るんです』

『フーム、さうすると娘や息子が家出をしたのは何とも思はないのか』

『夫に就て面白いことがあるのよ、私は子爵夫人の手先を働くことになつたわ』

『おい〱何を云つて居るんだ、戲りにも河合家の令孃と化けて居る者が考へ無しの眞似をしては困るぜ』

『夫は斯うなのよ』

何か耳打をされた井口は、

『ナニ子爵夫人と云ふのは、貧乏華族の藤村の娘だ』

兇兒は我れにも無く大きな聲を出した、從つて心の裡は餘程の動搖を來したらしい。

日報柳壇

劍花坊選

紙屑屋

佳句

紙屑になる片思ひ　紫流

▲評、川柳をはじめて作つた人の手に落ちて、戀文が戀人の手に落ちて開かれずに、其儘紙屑に投げ込まれた、さいふことはかなり日本の短かい詩の材料になつて居るが、かうした文字の扱かひ方なしたしのは、絶無とも云へなからうが、先づ少ない方だ。

紙屑屋稼業の割に衣を買ひ　柳蛙

▲評、眞に古川柳の骨法、佳作たるに耻ぢない。

我等の俳句

○　浮碧樓

炎天の俥の兩輪よわが行く先

畠のトマトみのり鳥人に與へず

梅の實が熟す父の喪の長き生活　芹郎

○　烏堂

私を呼ぶものが垣に寄る明るい虫の夜

虫の夜明け出で行く山の樹を見る

虫の音沙踏む足取と沙原を踏む

物食つてしまへは又風暴れの夜の虫

早天の日南草は枯れずに消え行く　一八、八、一五

新刊紹介

▲家庭醫療寶鑑（市後藤榮著）森安博士の序に曰く「平易懇切にして何人にも容易に其の事理を會得する［判読不能］本書の誇りとする所にして家庭に必要なる良書なり」と山縣前政務總監の題字あり全篇十二章［判読不能］

夏の夜の情趣

……星を見る事は……物干場から或は縁先から或は夕……ぬ星の爛らかさである……

……一晩夜……

……かならぬ現在の研究によれば流れが慧星の名……といふ事が……居る虫も少くない、……それが俗に火の玉といふ、普通見られて愛されるのは……金星で……持つて居る、太陽に最も近い星の世界にも生物が住んで……

桃谷研究試驗所創製

光榮ある御化粧料三十六種の内

美顔白粉

生れつき色が白い やうな白さに附く……理由

一 眞に清らかな白さを持つてゐるからです。これは從來の白粉と一寸比べて見てもお分りになります。

二 優れて美しい光澤があるからです。此光澤こそそれから前申した清らかな白さとが一緒になるので、眞に迫つた美しい色艶が出るのです。

三 被覆力が強いからです。被覆力が強いため美顔白粉はノリやノビに申分が無く、お化粧くづれもせず長い間お化粧美を保つのです。

四 分子が此上なく細いからです。白粉の分子は細い程よく附き、お化粧にムラ等の出來ないものです。